

平成 20 年度（2008 年度）

豊中市
食育推進計画年次報告書

豊中市
Toyonaka City

豊中市食育推進計画年次報告書 目次

1	平成20年度（2008年度）の特徴的な取り組み	- 1 -
	野菜たっぷりランチメニューコンテスト	- 2 -
	青少年自然の家事業「能勢のせフードキャンプ」	- 8 -
	「ボランティアのための食の安全・安心講座」	- 18 -
	食育スタディツアー みんなで収穫祭！	- 24 -
2	推進計画の数値目標の達成状況（意識調査）	- 30 -
3	各事業の進行状況	- 39 -
4	その他（食育関連の情報提供等）	- 65 -

1 平成20年度（2008年度）の特徴的な取り組み

平成20年度（2008年度）に行われた
食育に関する取り組みの一部をご紹介します。

野菜たっぷりランチメニューコンテスト

青少年自然の家事業「能勢のせフードキャンプ」

「ボランティアのための食の安全・安心講座」

食育スタディツアー みんなで収穫祭！

事業名称

野菜たっぷりランチメニューコンテスト

継続事例

連携事例 （学校、行政・協議会、市民の団体）

対応するライフステージ

妊娠期

幼年期

少年期

青年期

壮年期

中年期

高年期

0歳～

6歳～

15歳～

25歳～

45歳～

65歳～

関係する分野

保健 ・ 教育 ・ 環境

対応する大目標

- Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう
- Ⅳ 食べる物、食べることを大切にしよう

対応する年代別目標

- 少年期 家族や仲間と楽しく食事をしよう
食の大切さ、調理の方法を学ぼう

対応する施策の展開

- 少年期 ⑥学校から保護者への情報発信
⑧学校、地域、行政などとの連携による食育の推進

1. 目的

子どもの頃から規則正しくバランスの良い食事をとり、野菜や果物を多く摂取する等の健康な食習慣を身につけることは健康づくりの基本であり最も重要なことである。ランチメニューを考え、料理して食べることによって家族のコミュニケーションを深め、作ることの楽しさや食品を選び組み合わせることの大切さを学んでもらうことを目的とする。

2. 対象 豊中市在住または在学の小学校5・6年生

3. 主催 大阪府豊中保健所、豊中市教育委員会

4. 募集期間 7月中旬～9／5（金）

5. 応募用紙の配布・回収方法

応募用紙は、豊中市教育委員会を通じて市立各小学校に配布し、各学校で取りまとめの上、教育委員会を通じて保健所が回収。豊中市内の私立や市外の小学校に通学している5・6年生については、市広報誌を通じて周知し、希望者については応募用紙を保健所より配布し保健所に提出してもらう。保健所回収締め切りは、9／12（金）

6. 審査員

豊中保健所長、豊中市教育委員会教育長、豊中市小学校長会代表、豊中市健康づくり推進員会代表、豊中市健康支援室栄養士、学校給食の栄養士、地域活動の栄養士、子どもの食を考える会代表、NPO 花と緑のネットワーク代表など

7. 審査

野菜がたっぷり使われている、栄養のバランスがいい、作りやすい、食べてみたいと思う、料理のアイデアがいい等を基準に書面審査を行った後、最終審査は料理を試作し、保健所長賞・教育長賞を各6作品、計12作品を決定する。

1次審査(書面)：9／25(木)

2次審査(調理)：10／7(火)

8. 応募人数 1940 人

9. 通知等

入賞者には10月末ごろ書面で学校を通じて通知し、表彰状と記念品(記念カードと府媒体)を贈呈。

10. 協力

子どもの健康づくりネットワーク会議

11. その他

平成20年(2008年)12月15日～21日ケーブルテレビ広報番組「かたらいプラザ」特集に入賞作品を紹介

平成21年(2009年)7月の学校給食に入賞作品の献立を提供

小学校5年生・6年生のみなさんへ

平成20年度ランチメニューコンテスト

のお知らせ



野菜たっぷりの昼ごはんを考えてください！

応募できる方	豊中市内の小学校に通っている5・6年生 個人でも、グループでも、応募できます。
応募方法	この応募用紙に、記入例のように書いて、 学級担任の先生に提出してください。 豊中市立の小学校に通う方以外は直接、 豊中保健所に郵送してください。
しめきり	平成20年(2008年)9月5日(金)
主 催	大阪府豊中保健所・豊中市教育委員会
協 力	子どもの健康づくりネットワーク会議

応募用紙

子どもの頃から朝食・昼食・夕食をしっかり食べることと、料理を作る習慣を身につけておくことは、一生の宝物になります。

野菜バリバリ・朝食モリモリで元気アップ



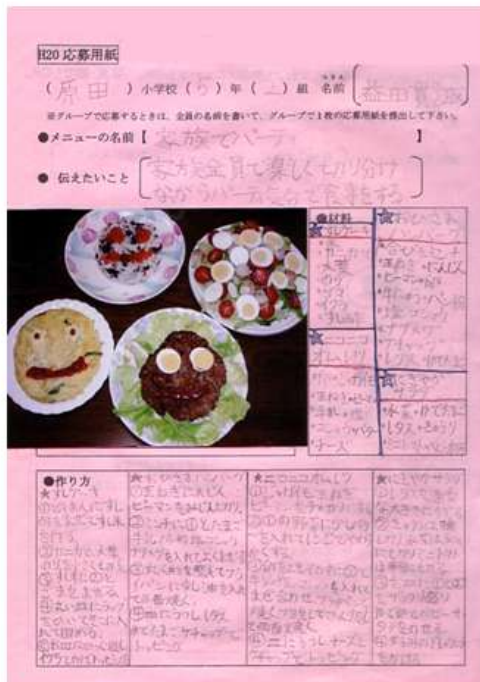
審査員 大阪府豊中保健所長、豊中市教育委員会教育長、豊中市立小学校長会代表、学校給食の栄養士、地域活動の栄養士、豊中市健康づくり推進員など。

審査結果 入賞者には10月下旬に学校を通じてお知らせします。

表彰 入賞者には賞状と記念品を贈呈いたします。

応募用紙

豊中市教育長賞



みんなで食べると楽しいで賞

原田小学校 5年生
益田 貫誠さん

家族でパーティ



入賞記念カード
(表彰状とともに、本人にプレゼント)

豊中保健所長賞

平成20(2008)年度ランチメニューコンテスト

体にやさしいで賞

桜井谷東小学校6年 瀬古 文佳



和風ヘルシーランチ

栄養満点賞

少路小学校5年 山田 舞



お野菜食物せんいたっぷりランチ

野菜シャキシャキ賞

大池小学校6年 村中 要公



食物せんいたっぷりメニュー

ほっと和むで賞

寺内小学校5年 苅山 千佳



野菜たっぷり和風ランチ

野菜カラフル賞

熊野田小学校6年 山崎 快



カラフル野菜ごはん

野菜バリバリ賞

南桜塚小学校6年 北島 英明



鮭と野菜のたっぷりランチ

入選作ポスター(小学校掲示用)

※ 毎日 は し を 持 参 し

月日	献立名	食品名	重量 g	栄養 三色	月日	献立名	食品名	重量 g	栄養 三色		
7月10日(木)	ミルクツイスト1こ ぎゅうにゅう ラビオリのトマトに えだまめ りんご	けい乳(冷) ビオ(半製品) にんじん たまご トマト パスタ チキンスープ(冷) トマトケチャップ(缶) ※1 トマトソース(缶) お・こし しょうゆ だまめ(冷) りんご(缶)	20 20 15 50 15 0.2 5 11 11 2 すこし 50 すこし 1/4	赤 黄 赤 緑 緑 緑 赤 緑 黄 緑 緑	7月16日(水)	バリエール ランチメニュー コンテスト入賞献立 コンソメスープ ぶたにくのケチャップ ソースかけ こんぶ カミカミ献立 ぎゅうにゅう	めぎ かいしらのみず ※17ベコン にんじん ソテードオニオン(冷) おろしにんにく(冷) しろワイン ターメリック オリブオイル お けいにく(冷) やがいも にんじん たまご パスタ チキンスープ(冷) あし お・こし しょうゆ ふたにく お・こし しょうゆ あ トマトケチャップ(缶) ソー と こん	63 7 7 3 5 5 0.33 1 0.1 0.3 お 1.2 15 30 10 30 0.2 8 すこし すこし 2 1まい すこし すこし 5 2 1 1ふくろ	黄 黄 赤 赤 緑 緑 緑 黄 黄 赤 黄 緑 緑 赤 黄 赤		
栄養価	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂質 g	ナトリウム 食塩相当量 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミ A μgR E B1 mg B2 mg C mg			食物繊維 g	
	620	25.6	18.0	3.5	352	2.2	402	0.67	0.74	17	4.9
7月11日(金)	ごはん にくじゃが たまごやき のりのつくだに ぎゅうにゅう	ぎゅうにゅう うが にんじん たまご ささき しょうゆ お・こし ※13 たまごやき (半製品) ※14 のりのつくだに	20 50 20 20 5 1 3 6 すこし すこし 1こ 1ふくろ	赤 黄 緑 緑 緑 黄 黄 赤 赤	7月12日(土)	ごはん にくじゃが たまごやき のりのつくだに ぎゅうにゅう	めぎ かいしらのみず ※17ベコン にんじん ソテードオニオン(冷) おろしにんにく(冷) しろワイン ターメリック オリブオイル お けいにく(冷) やがいも にんじん たまご パスタ チキンスープ(冷) あし お・こし しょうゆ ふたにく お・こし しょうゆ あ トマトケチャップ(缶) ソー と こん	63 7 7 3 5 5 0.33 1 0.1 0.3 お 1.2 15 30 10 30 0.2 8 すこし すこし 2 1まい すこし すこし 5 2 1 1ふくろ	黄 黄 赤 赤 緑 緑 緑 黄 黄 赤 黄 赤		
栄養価	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂質 g	ナトリウム 食塩相当量 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミ A μgR E B1 mg B2 mg C mg			食物繊維 g	
	577	19.9	14.2	2.1	278	2.4	500	0.57	0.51	25	3.8
7月13日(日)	ごはん にくじゃが たまごやき のりのつくだに ぎゅうにゅう	けい乳(冷) ビオ(半製品) にんじん たまご トマト パスタ チキンスープ(冷) トマトケチャップ(缶) ※1 トマトソース(缶) お・こし しょうゆ だまめ(冷) りんご(缶)	20 20 15 50 15 0.2 5 11 11 2 すこし 50 すこし 1/4	赤 黄 赤 緑 緑 緑 赤 緑 黄 緑 緑 黄 緑 緑	7月19日(土)	ごはん にくじゃが たまごやき のりのつくだに ぎゅうにゅう	めぎ かいしらのみず ※17ベコン にんじん ソテードオニオン(冷) おろしにんにく(冷) しろワイン ターメリック オリブオイル お けいにく(冷) やがいも にんじん たまご パスタ チキンスープ(冷) あし お・こし しょうゆ ふたにく お・こし しょうゆ あ トマトケチャップ(缶) ソー と こん	63 7 7 3 5 5 0.33 1 0.1 0.3 お 1.2 15 30 10 30 0.2 8 すこし すこし 2 1まい すこし すこし 5 2 1 1ふくろ	黄 黄 赤 赤 緑 緑 緑 黄 黄 赤 黄 赤		
栄養価	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂質 g	ナトリウム 食塩相当量 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミ A μgR E B1 mg B2 mg C mg			食物繊維 g	
	584	26.1	15.3	3.4	276	1.7	324	0.83	0.46	18	3.5
7月20日(水)	ごはん にくじゃが たまごやき のりのつくだに ぎゅうにゅう	めぎ かいしらのみず ※17ベコン にんじん ソテードオニオン(冷) おろしにんにく(冷) しろワイン ターメリック オリブオイル お けいにく(冷) やがいも にんじん たまご パスタ チキンスープ(冷) あし お・こし しょうゆ ふたにく お・こし しょうゆ あ トマトケチャップ(缶) ソー と こん	63 7 7 3 5 5 0.33 1 0.1 0.3 お 1.2 15 30 10 30 0.2 8 すこし すこし 2 1まい すこし すこし 5 2 1 1ふくろ	黄 黄 赤 赤 緑 緑 緑 黄 黄 赤 黄 赤	7月26日(火)	ごはん にくじゃが たまごやき のりのつくだに ぎゅうにゅう	めぎ かいしらのみず ※17ベコン にんじん ソテードオニオン(冷) おろしにんにく(冷) しろワイン ターメリック オリブオイル お けいにく(冷) やがいも にんじん たまご パスタ チキンスープ(冷) あし お・こし しょうゆ ふたにく お・こし しょうゆ あ トマトケチャップ(缶) ソー と こん	63 7 7 3 5 5 0.33 1 0.1 0.3 お 1.2 15 30 10 30 0.2 8 すこし すこし 2 1まい すこし すこし 5 2 1 1ふくろ	黄 黄 赤 赤 緑 緑 緑 黄 黄 赤 黄 赤		
栄養価	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂質 g	ナトリウム 食塩相当量 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミ A μgR E B1 mg B2 mg C mg			食物繊維 g	
	584	26.1	15.3	3.4	276	1.7	324	0.83	0.46	18	3.5

学校給食より抜粋（平成20年7月学校給食献立）



ランチメニューコンテスト 応募作品

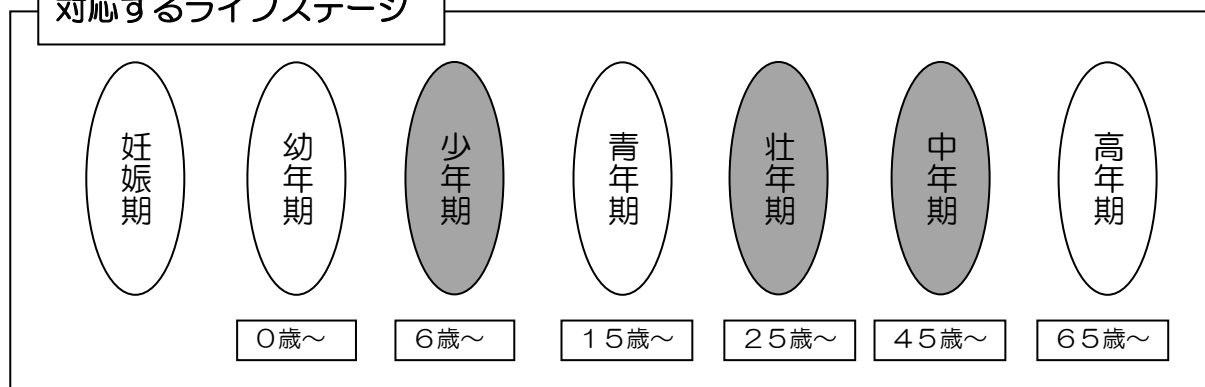
事業名称

青少年自然の家事業「能勢のせフードキャンプ」

新規事例

連携事例（行政・NPO）

対応するライフステージ



関係する分野

教育

対応する大目標

- Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう
- Ⅳ 食べる物、食べることを大切にしよう

対応する年代別目標

- 少年期 家族や仲間と楽しく食事をしよう
食の大切さ、調理の方法を学ぼう
- 壮年期 地域や家庭で食事を楽しもう
- 中年期 食育を伝えよう、広げよう

対応する施策の展開

- 少年期 ⑧学校、地域、行政などとの連携による食育の推進
- 壮年期 ③体験の機会の提供
- 中年期 ③調理技術の向上に対する支援
④食育を広げやすい環境整備

1. 目的

- ①大豆からのとうふ作りや、もちつき、たき火でのおやつ作りなど、楽しい食作り体験を通して、食のありがたさ、大切さを知る。
- ②親と子が協働して食作りを行い、共通体験をすることで、家族での食に関する理解を深める。
- ③冬の豊中市立青少年自然の家 わっぱる（以下 わっぱる）で１泊２日を過ごし、能勢の自然の様子、豊中与違う里山のよさを感じてもらう。

2. 对象

豊中市内在住の小学生とその保護者

3. 募集人数等

募集人数	50人
申込人数	140人
参加人数	47人

申込み多数のため公開抽選を行う。1月23日（金）10時、豊中市立青年の家いぶきロビーにて実施。当選者50名のうち前日までに5名キャンセルがあり、4名繰上げ当選とした。当日2名不参加により、47名の参加となった。

4. 参加費 ￥3,000/1人

5. 周知方法

広報とよなか1月号

A5 チラシ（1月中旬に市内の全小学校に25000枚を配布 別添）

6. 応募方法 電話でわっぱる(1月20日～22日)

7. 実施日

平成21年(2009年)2月7日(土) 9時受付 ～ 2月8日(日) 16時30分解散

8. 実施プログラム（資料別添）

- ・とうふ作り
- ・おからドーナツ作り
- ・マシュマロ焼き
- ・焼きおにぎり
- ・もちつき
- ・バウムクーヘン作り
- ・シイタケ菌打ち
- ・焼きいも・焼きりんご など

9. 事業効果

自分の手で一から作る過程を通して、ふだん店で買って食べているものが、元の状態はどんなもので、どうやってできていくかを知り、食べ物への興味・関心や、感謝の気持ちを持ってもらうことをねらいとした。参加者は液状だった豆乳を固めるのに、何度もやり直してやっと豆腐の白い固まりができたことに感動したり、生地を竹につけて焼くのをくり返すうちに、バウムクーヘンに年輪ができていくのに感心したり、楽しくおいしく、発見のある体験ができたという声が聞こえた。

楽しかったので、またわっばるに來たいという参加者の声も多く聞こえ、今後の家族利用へのつながりも期待される。

親子で
楽しく

能勢のせフードキャンプ



能勢の産物を使って、楽しく作って食べまくる！！
大豆からの豆腐作り、能勢米使用のもちつき、キャンプ
場ならではの、たき火で簡単クッキングウ～もあるよ！！



- ♥日時・・2009年2月7日(土)9:00集合～2月8日(日)17:00頃(1泊2日・4食)
- ♥集合・解散場所・・豊中市立青年の家いぶき(服部西町4-13-1)
- ♥実施場所・・・・・豊中市立青少年自然の家 わっぱる(能勢町宿野・移動は往復貸切バス)
- ♥対象・・・・・豊中市在住の小学1年生～6年生と保護者 50人
- ♥内容・・・・・とうふ作り、もちつき、シイタケ菌打ち、
たき火料理、おやつ作り など
- ♥申込・・・・・1月20日(火)～22日(木)9時～17時
電話で豊中市立青少年自然の家 わっぱる まで
(申込者多数の場合、抽選あり)
- ♥費用・・・・・3,000円
- ♥企画運営・・・・・特定非営利活動法人 豊中市青少年野外活動協会
- ♥主催・・・・・豊中市 こども未来部 青少年課
- ♥申込み・問合わせ・・・・・豊中市立青少年自然の家 わっぱる (TEL 072-734-0301)
青少年健全育成都市宣言のまち・豊中市



小学校用チラシ



フードキャンプ開始



ダッチオーブンでお料理



料理の完成



豆腐づくり準備完了



豆腐づくりに挑戦



豆腐をしぼる



収穫体験



もちつき体験



おいしくつけるかな？



バウムクーヘンづくり



しいたけマンとしいたけの菌打ち

とうふのつくいかた

材料（1丁）

大豆…300g、にがり液…20ccを水でとかし、100ccにする 湯…大豆の3倍（900cc）



①洗って水につけておいた（夏8時間、春秋15時間、冬20時間くらい）大豆を、つけ水と一緒にミキサーにかけ、なめらかなクリーム状にする。少しずつ入れること。



②鍋に大豆の3倍のお湯を入れ、①の生呉を入れる。こげないように、まぜながら強火で煮る。沸騰したら泡があふれる前に火を弱め、7～8分まぜながら煮る。



③ボール・ザルに、こし袋を重ね、②を入れる。熱いので、まな板にのせて、しゃもじで押すか、ゴム手袋をしてしぼる。しぼり汁が豆乳で、袋に残ったのが、おから。鍋を洗っておく。



④豆乳を鍋に入れ、70℃～75℃にして、ゆっくり混ぜながら、ニガリ液を少しずつムラなく加えていく。ふたをして10分くらい待つ。



⑤白い固まりをすくって、キッチンペーパーを敷いた容器に入れ、重しをのせる。残りはザルに入れて、寄せ豆腐に。

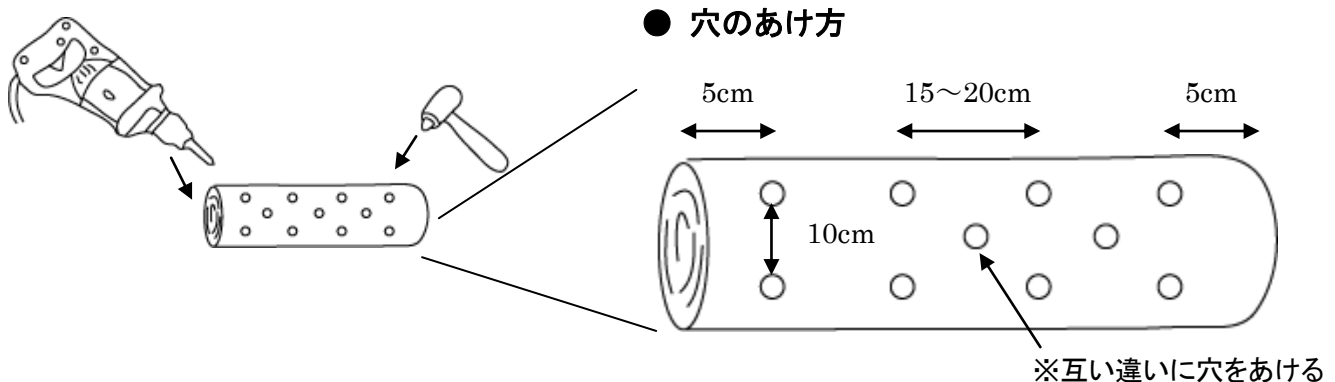


⑥15分くらい（時間をかけるほど、固くなる）おいて、様子を見える。好みの固さになっていれば、できあがり。にがりのアクが気になる人は30分ほど水にさらすとよい。

シイタケ 菌のうえかた

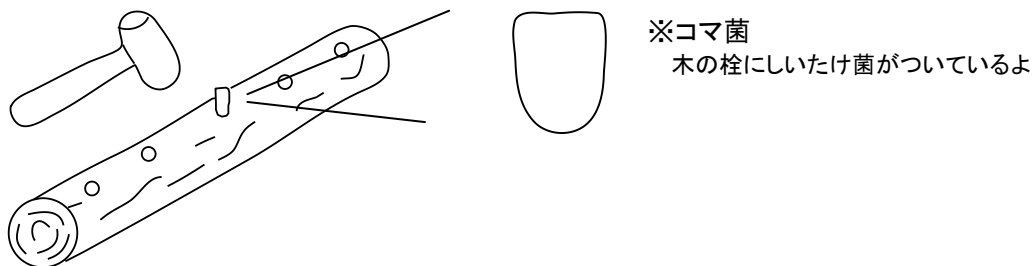
① 原木に、ドリルか専用のハンマーで穴をあける。

※ 今回は原木に「コナラ」の木を使っています。そのほか、ブナやクヌギでも OK !



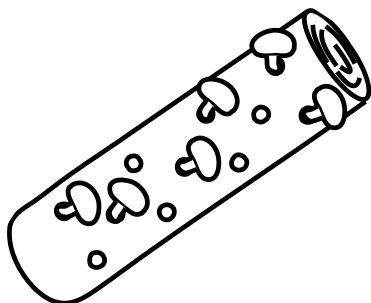
② 穴に「コマ菌」を打ち込む。

※ 軽く数回に分けてたたく



③ うまく育てば、来年の秋にはシイタケが出てくるから見に来てね。

● ほだ木の管理



- ※ 日陰で、風通しがよく、雨のあたる樹木の下などに置きます。
- ※ 直射日光が当たる場所では、コモやネットを使って日陰を作ります。
- ※ 雨が長く降らない場合はときどき散水します。

※ 環境的な条件もあるので、豊中の街ではこの状態から育てるのはけっこう大変です。挑戦してみたい人は持ち帰ってもいいですが、ホームセンターなどで売っている、植えてから 1 年育てたものが、ベランダなどで手軽に管理でき、その年のうちにでるのでおすすめです。また、インターネットの通信販売でも簡単な家庭栽培用のキットがありますよ。

おから豆乳ドーナツ の作り方

材料（１０人分）

おから	200 g
ホットケーキミックス	200 g
豆乳	200 c c
揚げ油	

作り方

- 1.材料の分量をはかり、ボールに入れてかきまぜる
- 2.油をライスクッカーに米４合の線まで入れ、加熱する
- 3.自分の好きな形を作る
- 4.油を１７０度くらいにし、すくいアミで中に入れる
- 5.表面がきつね色になったら裏返す。
- 6.両面がきつね色になって、周りの泡が細かくなってきたら一度上げてみる
竹串でさしてぬいてみて、中がべたつかず、スムーズにぬけるようなら、OK
- 7.クッキングシートにのせて油をきったら、できあがり

お・い・し・い

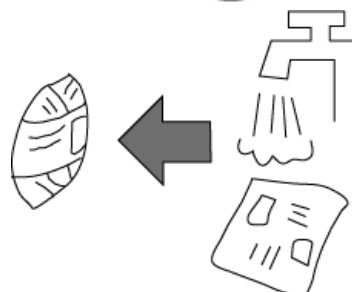


やきいもの作り方

① サツマイモを洗います。

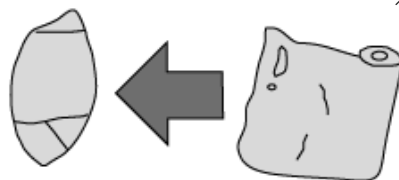


② 新聞紙を水でぬらして、サツマイモを包みます。



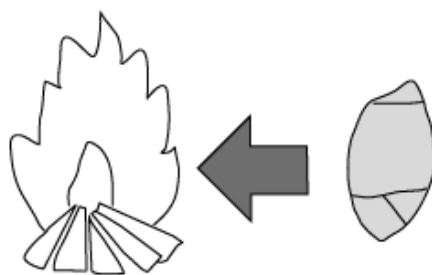
※イモを新聞紙でまいてから、水でぬらしてもOK。

③ さらにアルミホイルで、サツマイモをつつみます。



※他の人のイモと間違わないように、イモにまいたアルミホイルの形を特長的なものにしましょう。

④ たき火に入れます。
(20分～30分程度)

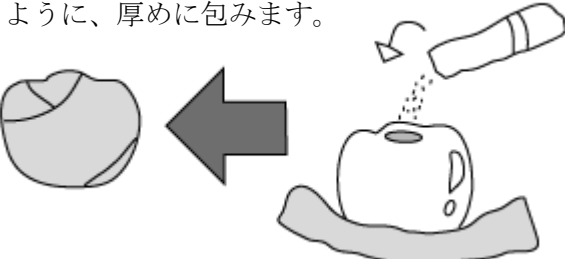
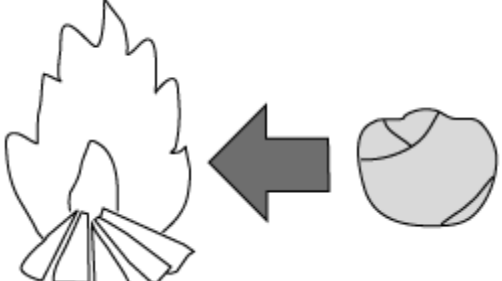


⑤ イモを握ってみて、やわらかい感触になっていればできあがり。





やきリンゴの作り方

①リンゴを洗います。	
②リンゴの芯をくり抜きます。	
③くり抜いた部分に砂糖を入れて、アルミホイルで包みます。	※アルミホイルがやぶれないように、厚めに包みます。 
④たき火に入れます。 (20 分程度) ※家なら、オーブンやグリルでも OK !	
⑤リンゴが弾力を持って、パンパンになっていればできあがり。	

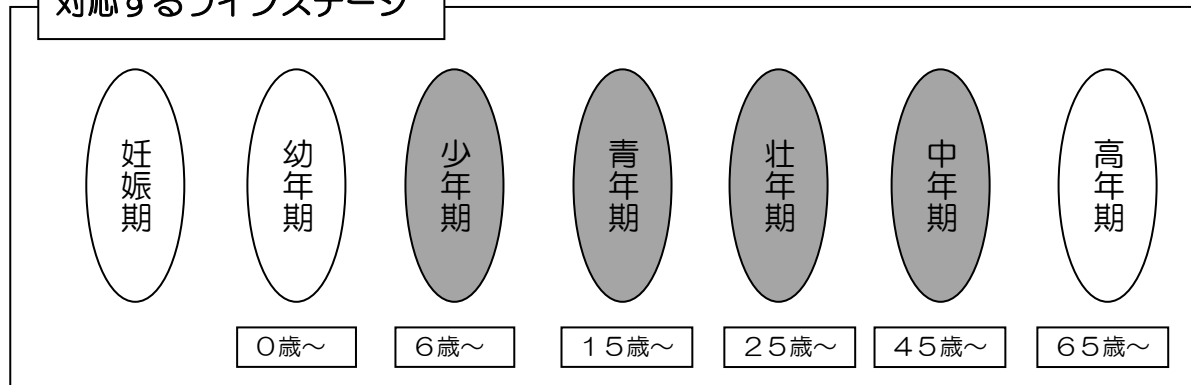
事業名称

「ボランティアのための食の安全・安心講座」

新規事例

連携事例（健康支援室・教育委員会 地域教育振興課）

対応するライフステージ



関係する分野

保健 ・ 教育 ・ 環境

対応する大目標

- I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう
- III おいしく、楽しく、食事をしよう

対応する年代別目標

- 少年期 家族や仲間と楽しく食事をしよう
食の大切さ、調理の方法を学ぼう
- 青年期 情報を正しく理解しよう
- 壮年期 子どもに対しての食育に取り組もう
- 中年期 食育を伝えよう、広げよう

対応する施策の展開

- 少年期 ⑧学校、地域、行政などとの連携による食育の推進
- 青年期 ①食に関する知識の普及・啓発や情報提供
- 壮年期 ③体験の機会の提供
- 中年期 ④食育を広げやすい環境整備

1. 目的

豊中市食育推進計画・すこやか親子21とよなかの推進のためには、地域のボランティアによる食育活動は不可欠であり、食にまつわる様々な活動は参加を希望する人も多く、楽しくまた活発な地域活動につながる。この講座では、食にまつわる様々な活動を衛生的に行い、食中毒の発生等を防ぐことにより、地域活動が継続的に行うことができることを目的に行った。

2. 対象

すこやかネット、地域子ども教室ボランティア
その他地域活動を行うボランティアなど

3. 定員 100人

4. 参加費 無料

5. 周知方法

ちらし 別添のとおり
地域教育振興課、健康支援室から各団体、関係課などへ周知

6. 実施日時

平成20年（2008年）10月6日（月） 14:00～15:30

7. 実施場所

生活情報センター くらしかん 3階イベントホール

8. 内容

- 講話「食中毒を防いで安全安心な食育活動を！」
- ・調理実習をする時の注意点
 - ・模擬店・イベントの成功のために
 - ・野外で活動するときはこんなことに気をつけよう ほか

9. 講師

豊中保健所 衛生課 食品衛生監視員

10. 結果

参加者：94人 （内訳 地域子ども教室 83人 その他 11人）

11. その他

この講座は、豊中市教育委員会地域教育振興課と健康支援室の共催で実施した。

また、地域活動、野外活動、学校、幼稚園、保育所などにおける食育活動等に役立てるため、今回の講座の講演内容を中心にして小冊子を作成し、関係団体や関係各課に提供をする予定である。内容については、イラストを多用してわかりやすく、地域での食育活動がより安全で安心取り組めるものとする。

12. 考察

地域での食育活動において、事業を継続するためには、食中毒を防止することが、大変重要であると考えている。しかし、地域のボランティアが様々な食にまつわる活動を安全に行う際に参考になる情報が少ないことに問題を感じたことがこの講座の企画のきっかけとなった。また、今回の講座はとよなか地域子ども教室の指導員・安全管理員をはじめ、すこやかネット、豊中市食育推進協議会など食にまつわる活動を行う団体等にも参加を呼びかけた。参加者の中には、保育関係者、幼稚園関係者も含まれ、保育中の食育活動においても安全管理への関心があることがうかがえた。

さらに、上記11. その他に記載してあるとおり、この講座の内容および使用したテキストは、もちつき、模擬店、調理実習、野外活動など地域での活動のほか、保育や教育の現場において、食育活動が安全に安心して行なえるように使いやすい小冊子にまとめ市内で共有できるようにしようと考えている

また、参加者アンケートにおいては、小冊子に希望する内容として「発症時の症状と初期の対応方法」がほしい「手洗いの手順が、資料の写真のような図のほうがわかりやすいのでは。」など冊子の使い手の視点からの要望が寄せられたので、今後このような意見を参考に、より使いやすい冊子とできるように考えていきたい。

市内で情報を共有する、このような動きが食育を推進するための環境整備の1つになると考える。



講座の様子



講座の様子

平成20年度(2008年度)

ボランティアのための 食の安全・安心講座

子どもたちが安全に、安心して活動に参加できる環境づくりはとても大切なことです。地域では、料理教室や野外活動等の様々な活動が行われていますが、食に関わる問題と対策、そして、おすすめ料理まで、食育をテーマにした講座に、ぜひ、ご参加ください。



と き / 平成20年(2008年)10月6日(月)
午後2時～午後3時30分



ところ / くらしかんイベントホール



講 師 / 大阪府豊中保健所 衛生課
食品衛生監視員 森野 静香 さん



内 容 / 食中毒を防いで安全安心な食育活動を！
・調理実習をする時の注意点
・模擬店・イベントの成功のために
・野外活動のときは、こんなことに気をつけよう ほか



対 象 / すこやかネット
とよなか地域子ども教室指導者・安全管理員
その他地域活動を行うボランティア ほか



定 員 / 100人

お申込み・お問合せ / 豊中市教育委員会 地域教育振興課

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1

TEL 06-6858-2582

FAX 06-6846-9649

Email: chiikikyoku@city.toyonaka.osaka.jp

申込締切：9月30日(火)

豊中市教育委員会 地域教育振興課 / 豊中市健康福祉部 健康づくり推進課 共催
(☎06-6858-2800)

食の安全考えよう 豊中 陸 経

模擬店や料理教室、野外活動など、食にかかわる地域活動を安全に行ってもらおうと、ボランティアを対象とした「食の安全・安心講座」が6日、豊中市北桜塚の市立生活情報センターくらしかで開かれた＝写真。

特に子供たちが参加する食事を伴う行事の問題点や対策を学ぶのが目的。市内の41小学校や公共施設で放課後や休日に小学生向けの行事を開いている「とよなか地域子ども教室」の指導者や安全管理員、学校関



係者ら94人が参加した。

講座では、豊中保健所の食品衛生監視員が、餅つきや、肉類や卵焼きの加熱不足などの被害実例を紹介。手洗いや調理器具の洗浄、消毒の徹底を指導し、おにぎりなど調理直後に食べないメニューよりも、加熱後にすぐ食べる焼きそばやフライドポテトなどの方が被害を避けやすいことなどをアドバイスした。

豊島西ふれあいこども教室の代表、中川新一さん(60)は「地域の行事で食べ物を扱う際にはいつも気を付けているが、今回は今後の参考にしようと思い、参加した。食の安心・安全への関心が集まる中、タイムリーで有益な講座だった」と話していた。

食の行事を安全に

保健所
職員

調理法の注意点説明

・豊中市

模擬店
や料理教

室など、食にかかわる
子ども対象の地域活動
（同市北桜塚二丁目）

を安全に行ってもらお
うと、豊中市立生活情
報センターくらしかん
で六日、地域ポランテ
ィアを対象とした「食
の安全・安心講座」が
開かれた。大阪府豊中



食にかかわる子ども対
象の地域活動を安全に
行ってもらおうと開か
れた講座

保健所の職員がノロウ
イルスなどによる食中
毒の被害事例や、食材
の調理方法などを分か
りやすく説明した。

同市教委地域教育振
興課と、健康づくり推
進課が企画。市内の小
学校四十一校や、公共
施設を活用して放課後
や休日小学生向けの
行事を行う「とよなか
地域子ども教室」の指
導者や安全管理員、学
校関係者など九十四人
が参加した。

講座では豊中保健所
衛生課の食品衛生監視

員・森野静香さんが、
全国で発生しているも
ちつきでのノロウイルス
による被害などを紹
介。また手洗いや調理
器具の洗浄、消毒の徹
底を指導するととも
に、食材を十分過熱す
ることや生肉を扱うは
しを別にすることな
ど、調理の注意点を説
明した。

豊島西ふれあいこど
も教室で代表を務める
中川新一さん（左）は、
「食の安心・安全への
関心が集まる中、タイ
ムリーで有益な講座だ
った」と話していた。

（藤林敏治）

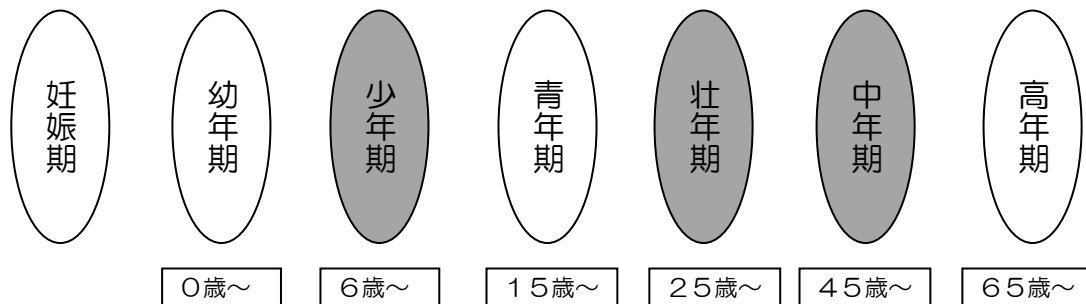
事業名称

食育スタディツアー みんなで収穫祭！

新規事例

連携事例 （行政・協議会）

対応するライフステージ



関係する分野

保健 ・ 環境

対応する大目標

- Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう
- Ⅳ 食べる物、食べることを大切にしよう

対応する年代別目標

- 少年期 家族や仲間と楽しく食事をしよう
食の大切さ、調理の方法を学ぼう
- 壮年期 地域や家庭で食事を楽しもう
- 中年期 食育を伝えよう、広げよう

対応する施策の展開

- 少年期 ⑧学校、地域、行政などとの連携による食育の推進
- 壮年期 ③体験の機会の提供
- 中年期 ④食育を広げやすい環境整備

1. 目的

食育推進計画策定のためのアンケート調査結果（少年期）より、行いたい農業体験として、「野菜の収穫」は44.1%となり、もっとも多い「餅つき」の希望51.1%に次ぐものである。

このスタディツアーは、生産者から農作業の話を聞き、実際に収穫を行い、その野菜を調理して食べる。という体験をとおして、地産地消への理解を深め、「食」への感謝の念を確認することまた、食を通じたコミュニケーションを体験することを目的として実施した。

2. 対象

豊中市内在住の小学生とその保護者

3. 定員

40人

4. 参加費

750円(ただし収穫体験料、食材費の実費として)

5. 周知方法

広報とよなか 11月号掲載
ポスター掲示
チラシ 配布
市ホームページ 掲載

6. 応募方法

電話で健康支援室(11月4日9:30~6日)
(定員に満たなかったため11月14日まで追加募集)

7. 実施日

平成20年(2008年)11月29日(土)9時15分出発~15時15分散

8. 実施場所

緑と食品のリサイクルプラザ(原田中)
とよっぴー農園
市立保健センター(島江町)

9. 協力

NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ21
豊中市農業経営者協議会研究部会

10. 実施内容

実施時間	内容
8:45～ 9:10	受付・領収書の確認・マイクロバス乗り込み
9:15	出発
9:25	緑と食品のリサイクルプラザ・とよっぴー農園到着
～10:00	施設見学と「とよっぴー」の製造についてのお話
～11:25	収穫体験（さつまいも、大根、にんじん、小松菜、ほうれんそう、 チンゲンサイ、白菜、柿）
11:45	マイクロバスに乗り、農園を出発
12:10～	市立保健センター到着 児童は収穫祭パーティ準備(小学1,2年＝おにぎりを握る、 3,4年生＝田楽の厚揚げを焼く、田楽の盛り付け配膳 5,6年生＝おひたしづくり 保護者はミニ講座受講（農業と食育）
13:00	収穫祭パーティ開始(豊中産米＝豊中市農業経営者協議会研究部より協 力＝おにぎり、収穫祭田楽、ふかし芋、おひたし、 豚汁、柿) 食事・歓談 ・生産者のお話(児童向け) ・食育クイズ
14:15	パーティ終了、アンケート記入、資料配布
14:45	マイクロバスに乗り込む
15:15	市役所東側解散

11. 従事スタッフ数

健康支援室	7人
マイクロバス運転手	2人
パート栄養士	3人
花と緑のネットワーク	6人
公園みどり推進課	4人（緑と食品のリサイクルプラザ見学時）
ボランティア	1人

12. 結果

参加者 43人(児童21人 生徒1人 保護者21人)

13. 考察

20 年度初めての事業であるが、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 の協力のもと、予定通りの内容で実施ができた。

20 年度当初から打ち合わせを行い、さつまいもをはじめ、収穫体験用の野菜の栽培をお願いしたが、今年は天候に恵まれていたため、ほうれんそうなどの葉物の生育が早く、蒔き直しをしていただいたり、移植をして生育を遅らせていただいたりと農園のスタッフには、多くの労力を割いていただいた。

また、事業当日も、畑の準備や参加者の指導、収穫したものの保健センターへの運搬、芋のつるの佃煮、大根の漬物などの試食品の準備、保護者向けのミニ講座、食育クイズの実施などを受け持っていていただくなど多くの人の手によって支えられたと感謝している。

参加者アンケートでは、アンケートを提出した 42 人中 41 人がとても楽しかった、38 人がこのような催しがあればぜひ参加したいと答えた。またスタディツアーでよかったことをたずねる質問に全員が「野菜をとったり芋ほりをしたこと」をあげている。

また自由記載においては「ふだん出来ないことを収穫祭でできてよかった」(児童)、「小松菜やにんじん等の収穫体験は初めての体験だったので新鮮でおもしろかったです」(保護者)、「子どもにとってだけでなく親も知らないことばかり、やっぱり実際に体験すること、見て学ぶことが大切だと思います」(保護者)など、児童だけでなく保護者も「農」の体験が少なく、この事業が土に触れ、「農」に親しむきっかけ作りになること、「なにもかもたのしくて、えがおでいれました」(児童)、「野菜の収穫は本当に楽しく感激と感動でした。」(保護者)など初めての体験を新鮮に受け止め、楽しむ様子、「いつも野菜をいやがる息子が今日はすべて食べていました。料理が食卓に並ぶだけでなく収穫するところから体験すると息子の意識も変わってきます。」(保護者)、「子どもと一緒に色々な野菜を収穫したことそして、それをすぐ料理して食べたことがとても食欲につながったようです。」(保護者)など保護者が子どもの変化に気づき、前向きに捉えている一面などがうかがえた。

さらに「給食の食べ残しはあまりにももったいないです。中略 何とかならないかと思いました。」(保護者)「給食の食べ残しの多さにびっくりしました。パンは持ち帰るのがだめなら親が学校にもらいに行くなどして何とか消費できないものでしょうか。もっと多くの人にこの現状を知らせてほしいと思いますので、ぜひ広報に定期的に紹介してほしいと思います。」(保護者)緑と食品のリサイクルプラザの見学を通して、学校給食の食べ残しをもったいないと感じ、食べ残しの多さを実感できた保護者がいることを確認でき、この経験を重ねていくことで、今後の食育の推進に影響を与えてくるのではと考えている。

食育スタディツアーを企画する中で、児童に重点を置いた事業と考えて事業を実施したが、アンケートなどを見てみると、児童と同等以上に保護者からの反響が大きいものとなった。

畑に行き、土に触れ、虫のいる野菜を大切に収穫し、またそれを多くの人と一緒に食べる。子どもも大人もともに楽しみ、同じ体験を話題にしながら食卓を囲むことに対する喜びは、年齢を問わず、同じように大きいことから、今後は「子どもの行事に大人が同行している」という認識を持たず、すべての参加者が主体的に取り組め、それぞれの年齢に応じた食育体験ができる企画の必要性が明らかとなった。



受付風景



緑と食品のリサイクルプラザの見学



にんじんを抜く



白菜の収穫（保護者）



さつまいもを掘る



大根をぬく



デザート用の柿を取る（児童）



トラクターに乗る



焼き焼きチーム（3・4年生）



おにぎりあか・おにぎりあおチーム
（1・2年生）



おひたしA・おひたしBチーム
（5・6年生）



献立写真



ミニ講座「農業と食育」



収穫祭パーティ風景



生産者のお話（児童向け）



デザートの特

2 推進計画の数値目標の達成状況（意識調査）

豊中市食育推進計画の進行管理に向け、市民の意識を調査するために、平成21年（2009年）3月に食育アンケート調査を行いました。その概要についてご報告します。

□ 調査の実施状況

①幼年期（0～6歳）

対象者	平成21年3月の離乳食講習会・幼児食講座参加者
方法	参加時に配布・回収
有効回答数	84件

②青年期・壮年期・中年期・高年期

（15～24歳：青年期、25～44歳：壮年期、45～64歳：中年期、65歳以上：高年期）

対象者	すこやかプラザオープニングイベント参加者
方法	参加時に配布・回収
有効回答数	青年期・壮年期・中年期116件、高年期73件

（参考）

豊中市食育推進計画策定のためのアンケート調査（平成19年7～8月実施）の有効回答数

	有効回答数	対象者
幼年期	1,357件	・乳幼児健診対象児（4か月、1歳6か月、3歳6か月）の保護者 ・公私立幼稚園年長児、保育所・保育園年長児の保護者
少年期	1,538件	・小学校6年生とその保護者 ・中学校3年生とその保護者
青年期・壮年期・中年期	1,872件	・豊中市内在住の15～64歳の人
高年期	1,585件	・豊中市内在住の65歳以上の人

□ アンケートまとめ

今回のアンケートでは、ほとんどの項目において、計画策定時のアンケートよりもデータの改善がみられました。この2つのアンケートは回答数や対象者の年齢層などが異なるため、その結果を単純に比較することはできませんが、データは改善傾向にあると思われます。

一方、「自分の食生活が今のこどもたちのお手本になると思う」人が、幼年保護者では2人に1人、青年・壮年・中年期では3人に2人でした。食育に関心があり、知識があっても、実行に移すことは難しいようです。特に、子どもたちの、将来に向けての食事のイメージづくりへの支援が必要と思われます。

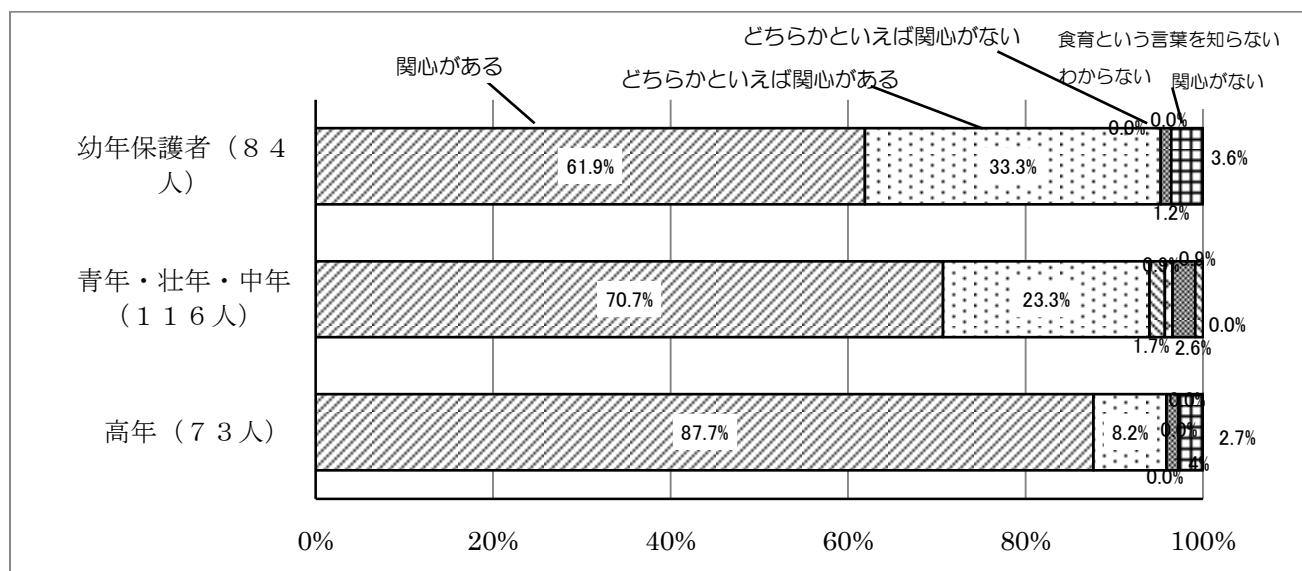
また、食の情報が氾濫する中で、「お手本となる食生活」が「健全な食生活※」であるように、「正しい知識※」の発信も、引き続き行っていきます。

※豊中市食育推進計画の基本理念

市民一人ひとりが生涯を通じて健康で心豊かな生活ができるように
「市民自らが食に関する正しい知識と食を選択する力を習得し、
健全な食生活を実践できる」ための食育を推進します。

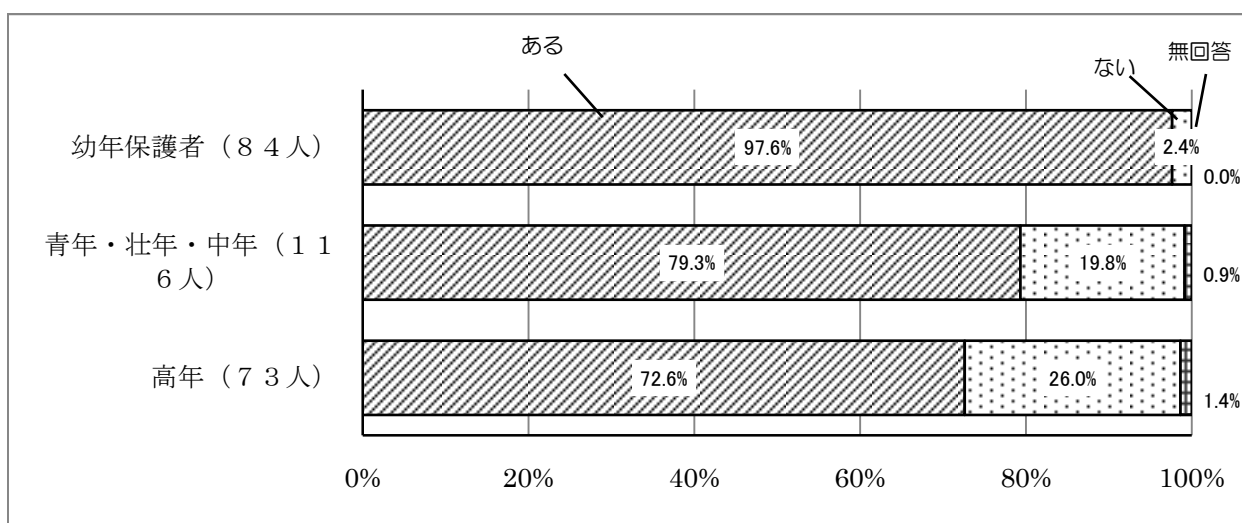
□ 食育への関心度

食育に関心を持っている人は、「食育に関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせると、幼年保護者で 95.2%、青年・壮年・中年で 94.0%、高年で 95.9%と、となっています。豊中市食育推進計画の数値目標のひとつに、「食育に関心を持っている人の増加」があり、計画策定時のアンケート調査では、幼年保護者 90.4%、青年・壮年・中年 85.5%、高年 71.7%でした。高年の食育への関心度の上昇が注目されます。



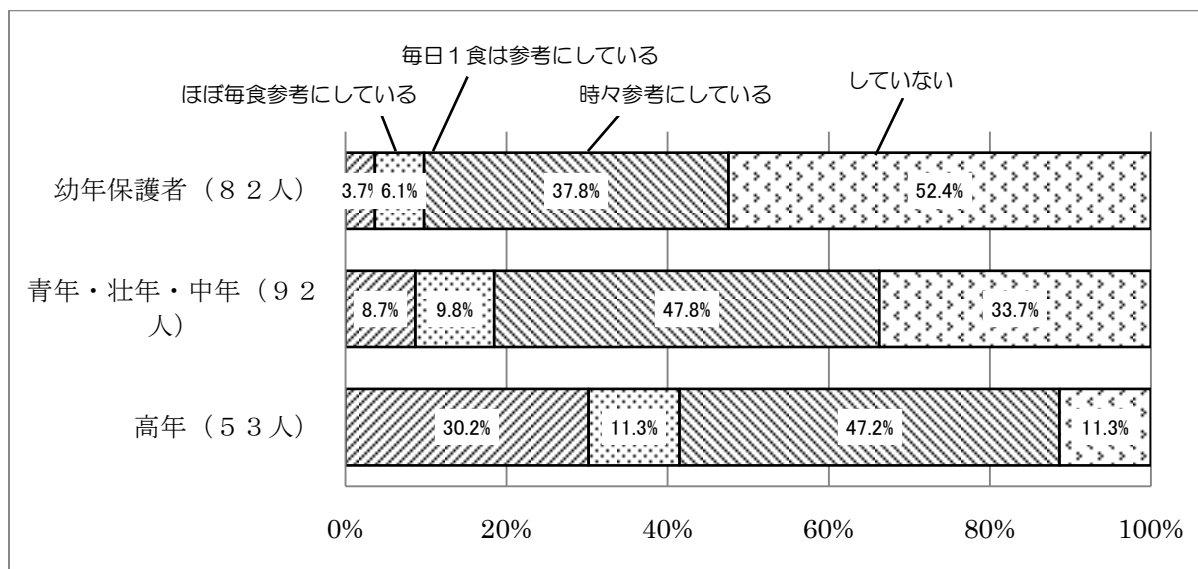
□ 食事バランスガイドの認知度

食事バランスガイドの認知度をみると、「(見たことが) ある」は幼年保護者で 97.6%、青年・壮年・中年で 79.3%、高年で 72.6%でした。計画策定時のアンケート調査では、幼年保護者 72.0%、青年・壮年・中年 51.4%、高年 44.5%でした。



□ 食事バランスガイドの活用度

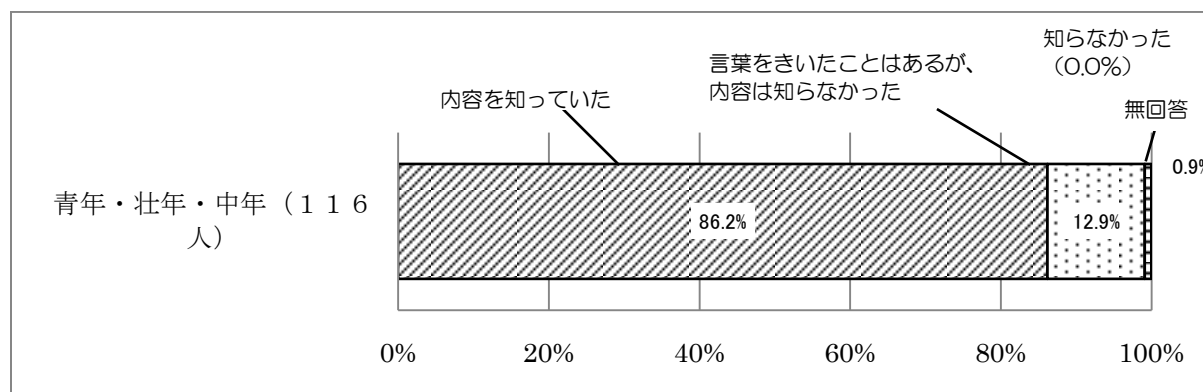
食事バランスガイドの活用度をみると、食事バランスガイドを「ほぼ毎食参考にしている」と「毎日1食は参考にしている」を合わせると、幼年保護者で9.8%、青年・壮年・中年で18.7%、高年で41.5%となっています。豊中市食育推進計画の数値目標のひとつに、「食事バランスガイドなどを参考に食生活を送っている人の増加」があり、計画策定時のアンケート調査では、幼年保護者15.5%、青年・壮年・中年17.1%、高年33.2%でした。



□ メタボリックシンドロームの認知度

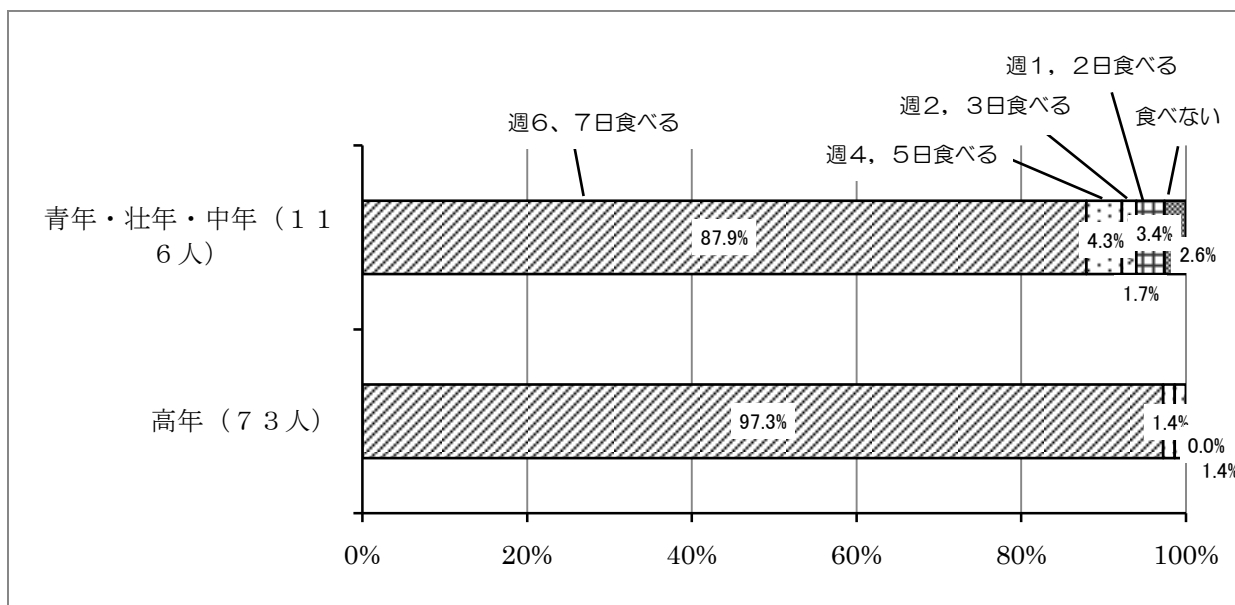
メタボリックシンドロームの認知度をみると、「内容を知っていた」が86.2%、「知らなかった」は0.0%でした。豊中市食育推進計画の数値目標のひとつに、「メタボリックシンドロームを認知している人の増加」があり、計画策定時のアンケート調査では「内容を知っていた」が78.8%、「知らなかった」が4.0%でした。

メタボリックシンドロームを知っている人は増加傾向にあります。



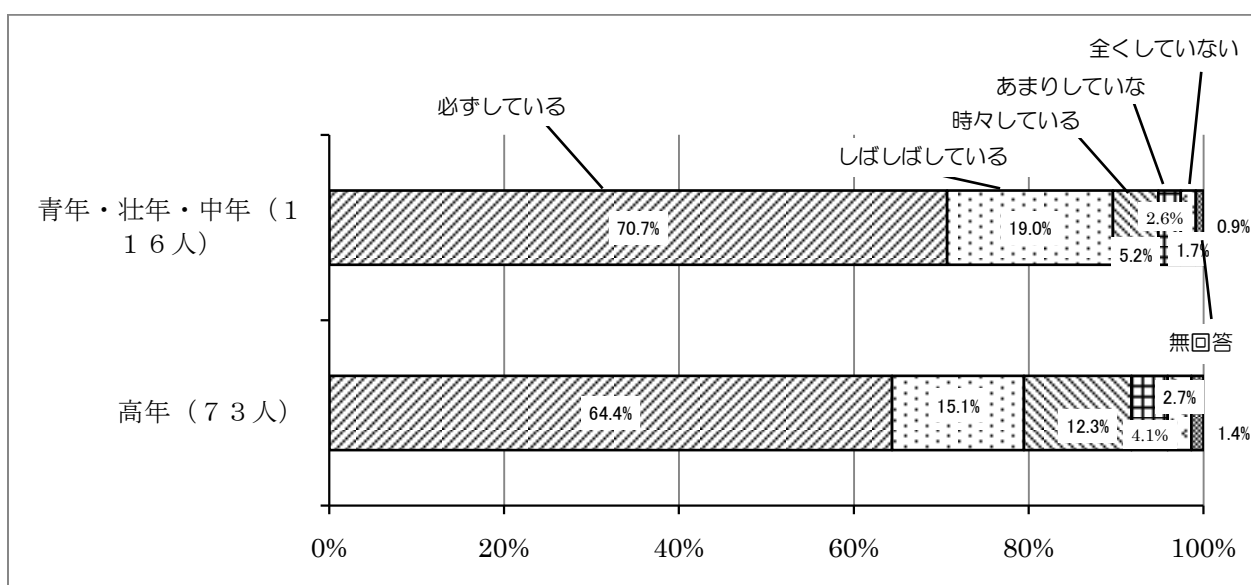
□ 朝食の摂取状況

朝食の摂取状況をみると、「週に6、7日食べる」は青年・壮年・中年で 87.4%、高年で 97.3% でした。計画策定時のアンケート調査では、青年・壮年・中年で 82.4%、高年で 93.9% でした。



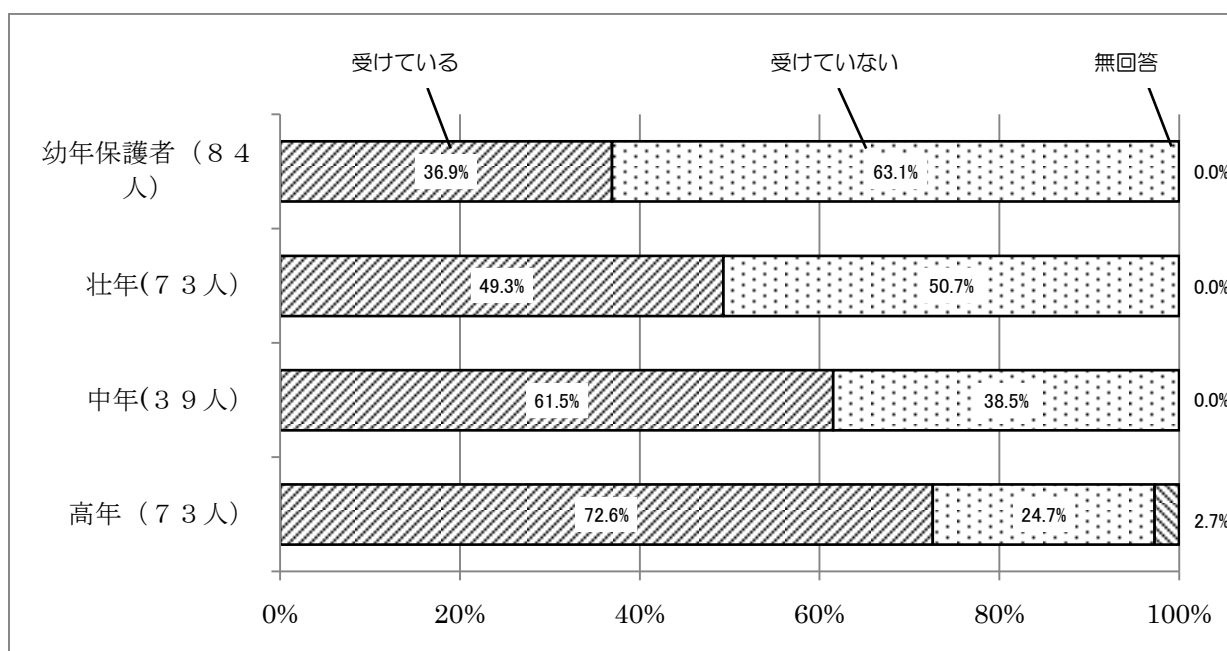
□ 食べ残しを減らす努力

食べ残しを減らす努力を「必ずしている」人をみると、青年・壮年・中年で 70.7%、高年で 64.4% となっています。豊中市食育推進計画の数値目標のひとつに、「食べ残しを減らす努力を必ずしている人の増加」があり、計画策定時のアンケート調査では青年・壮年・中年 50.2%、高年 55.3% でした。



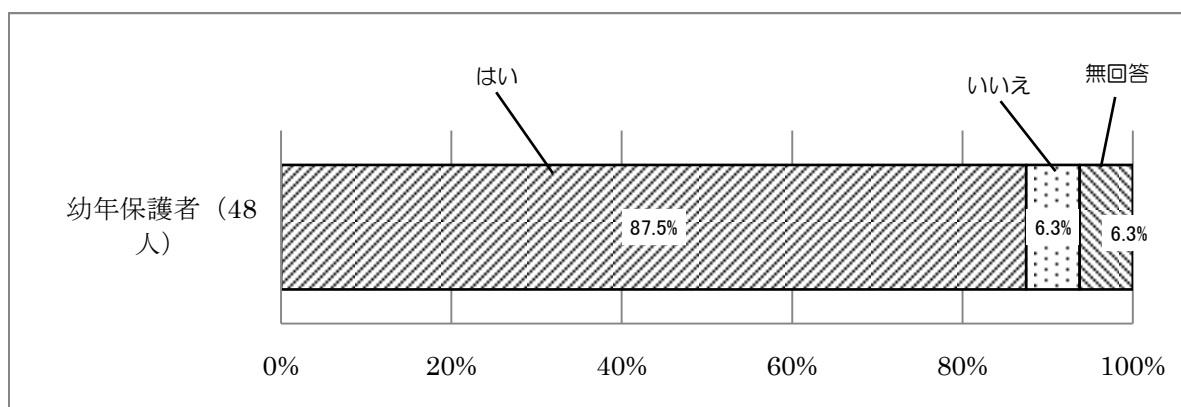
□ 定期的な歯科健診の有無

定期的な歯科健診の受診状況をみると、「受けている」は幼年保護者で 36.9%、壮年で 49.3%、中年で 61.5%、高年で 72.6%となっています。豊中市食育推進計画の数値目標のひとつに、「定期的な歯科健診を受けている人の増加」があり、計画策定時のアンケート調査では青年で 28.1%、壮年で 35.6%、中年で 43.4%、高年で 46.4%でした。



□ 子どもの噛む力にあわせた食事の心がけ

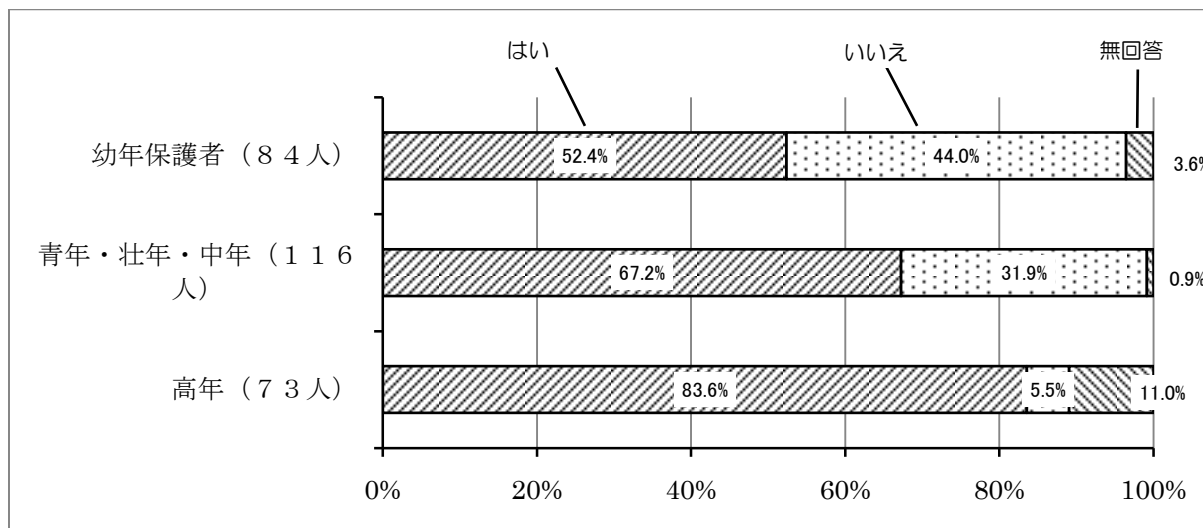
子どもの噛む力にあわせた食事を心がけているかをみると、「はい」が 87.5%、「いいえ」が 6.3%でした。策定時は「はい」と答えた人が 48.9%でした。



□ 自分の食生活が今のこどもたちのお手本になると思うか。

計画策定時のアンケートで調査しなかった項目で、市民が自分自身の食生活をどう評価をしているかを知るためのものです。

「自分の食生活が今のこどもたちのお手本になると思うか」、とたずねたところ、「はい」と答えた人は、幼年保護者で 52.4%、青年・壮年・中年で 67.2%、高年で 83.6%となっており、幼年保護者は、他のライフステージより少なくなっています。



また、「はい」「いいえ」と答えた理由をたずねました（自由記載）。

	「はい」と答えた理由	「いいえ」と答えた理由
幼年保護者	・主食主菜副菜をなるべくバランスよく作るようにしているから ・自分が親の影響を受けているから ・両親とも全く好き嫌いがないことと、バランス良い食事を心がけているから	・夕食だけはバランスを考えるが、朝と昼は簡単に済ませてしまう事が多いため ・子どもが見ていない所で、けっこうお菓子を食べています。子どもの見本になるようにがんばっていますが、本当のところは…。
青年・壮年・中年期	・楽しく食事をできているので良いと思う（30 歳男性） ・残さず食べるところ（43 歳男性） ・規則正しい食事を考えているから（23 歳女性） ・毎日手作りの料理を子ども達にたべさせているから（25 歳女性） ・バランスを考えて食事メニューを考えているので（32 歳女性） ・和食中心にしているから（44 歳女性）	・ファストフードが多い（23 歳女性） ・TV見ながらの時がある（30 歳女性） ・手を抜いているから（37 歳女性） ・野菜不足（44 歳女性）
高年期	・時間には必ず食べている（70 歳男性） ・毎日夕食作りを子どもに教えている（66 歳女性） ・健康を考えて食事をしているから（80 歳女性）	

食育アンケート

幼年期対象



このアンケートは、食育の推進のため市民の皆様の「食育」への意識等を知るために行います。このアンケート結果は豊中市における食育推進の目的以外に使うことはありません。ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

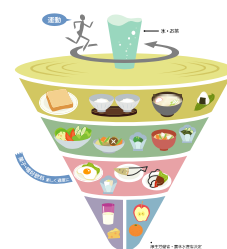
問1 「食育」に関心がありますか。【1つだけに○】

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 関心がある | 2 どちらかといえば関心がある |
| 3 どちらかといえば関心がない | 4 関心がない |
| 5 わからない | |

問2 食事の望ましい組み合わせとおおよその量を示したコマ型のイラスト「食事バランスガイド」(下図)

を見たことがありますか。【1つだけに○】

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|



問3 問2で「1 ある」と答えた方にお聞きします。

「食事バランスガイド」を参考にしてメニューを考えたり、選んだりしていますか。【1つだけに○】

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 ほぼ毎食参考になっている | 2 毎日1食は参考になっている |
| 3 時々参考になっている | 4 していない |

問4 お子さんが食事をする時には、大人も一緒に食べますか。【1つだけに○】

- | | | |
|------|-------|------------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 まだ食べていない |
|------|-------|------------|

問5 お子さんの噛む力にあわせた食事を心がけていますか。【1つだけに○】

- | | | |
|------|-------|------------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 まだ食べていない |
|------|-------|------------|

問6 あなたは定期的な歯科健診を受けていますか。【1つだけに○】

- | | |
|---------|----------|
| 1 受けている | 2 受けていない |
|---------|----------|

問7-1 あなたの食生活はお子さんが大人になったときのお手本になると思いますか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問7-2 そう思うのはなぜですか。

--

ご協力ありがとうございました。

食育アンケート

このアンケートは、食育の推進のため市民の皆様の「食育」への意識等を知るために行います。このアンケート結果は豊中市における食育推進の目的以外に使うことはありません。ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

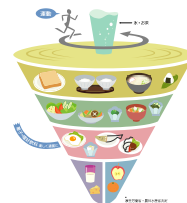
青年・壮年・中年・高年期対象

問1 「食育」に関心がありますか。【1つだけに○】

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 関心がある | 2 どちらかといえば関心がある |
| 3 どちらかといえば関心がない | 4 関心がない |
| 5 わからない | 6 食育という言葉を知らない |

問2 食事の望ましい組み合わせとおおよその量を示したコマ型のイラスト「食事バランスガイド」(下図)を見たことがありますか。【1つだけに○】

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|



問3 問2で「1 ある」と答えた方にお聞きします。
「食事バランスガイド」を参考にしてメニューを考えたり、
選んだりしていますか。【1つだけに○】

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 ほぼ毎食参考になっている | 2 毎日1食は参考になっている |
| 3 時々参考になっている | 4 していない |

問4 「メタボリック・シンドローム」(内臓脂肪症候群)を知っていますか。裏面参照【1つだけに○】

- | |
|--------------------------|
| 1 内容を知っていた |
| 2 言葉をきいたことはあるが、内容は知らなかった |
| 3 知らなかった |

問5 朝食を食べますか。【1つだけに○】

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 週に6、7日食べる | 2 週に4、5日食べる |
| 3 週に2、3日食べる | 4 週に1、2日食べる |
| 5 食べない | |

問6 食べ残しを減らす努力をしていますか。【1つだけに○】

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1 必ずしている | 2 しばしばしている | 3 時々している |
| 4 あまりしていない | 5 全くしていない | |

問7 あなたは定期的な歯科健診を受けていますか。【1つだけに○】

- | | |
|---------|----------|
| 1 受けている | 2 受けていない |
|---------|----------|

問8 2人以上でお住まいの方にお聞きします。

夕食の時、家にいる人全員で食事をしますか。【1つだけに○】

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 全員で食べている | 2 全員そろわないこともある |
| 3 全員そろわないことの方が多い | 4 その他 () |

問9 あなたの食生活は今の子どもたちが大人になるときのお手本になるとおもいますか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問10 そう思うのはなぜですか。

問11 あなたの年齢・性別をお答えください

_____ 歳 男 ・ 女

ご協力ありがとうございました



3 各事業の進行状況

- 1、行政の取り組み
- 2、教育・保育の取り組み
- 3、地域社会の取り組み

1、行政の取り組み

出版 物	事業等	所管	新規 に ＊印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25歳 ～	中 年 期 45歳 ～	高 年 期 65歳 ～	内 容	20年度実施状況
映 像	1 広報とよなか	広報広聴課		●	●	●	●	●	●	●	月1回発行。全世帯と全事業所に配布しています。市の各種施策や事業計画、福祉、環境、文化・スポーツなど市民に必要な情報を提供しています。	発行部数222,543部 (詳細) 6月号特集「見つけてみよう食べるこ と」 11月号特集「生活習慣病予防に健康 診査を活用しよう」
	2 技術・家庭科副読本「くらしの ノート」	くらしかん			●						消費者教育資料集(技術・家庭科副読本)「くらし のノート」を作成し、学校現場で活用を推進してい ます。豊中市教育推進計画に関する記述あり。	小学生用4,400部、中学生用4,300 部発行。
	3 生活関連物資調査	くらしかん		●	●	●	●	●	●	●	(とよなか)消費者協会に委託、 食料品、日用品等の生活関連物資について、年2回 テーマを決め市場調査を行っています。	2回実施 「野菜(青ネギ)の鮮度調査指導」に ついて、とよなか消費者協会と豊中市 小売市場連合会の共催。
	4 くらしの情報	くらしかん		●	●	●	●	●	●	●	消費生活情報誌「くらしの情報」を発行し、くらし かん及び市内公共施設で配布しています。	A4判・8頁、年4回、3,000部発 行/回 くらしの情報(点字版) B 5判・両面20枚、年4回、11部発行 /回
	5 情報誌等の発行	子育て支援セン ター		●	●						妊婦がわかってから就学前までの子育て情報を掲載 した「子育てサービスガイド」、公立保育所・民間 保育所・子育て支援センターの情報を掲載した子育て マップ”てくてく”を発行し、離乳食講座・食の 講座の情報を提供しています。	子育てサービスガイド8,000部、” てくてく” 25,000部
	6 給食の献立表と給食だよりの配 布	障害福祉課					●	●	●		栄養士による食育に関する情報を掲載しています。	毎月1回
	7 ケーブルテレビ番組「かたらい プラザ」	広報広聴課		●	●	●	●	●	●	●	市広報番組「かたらいプラザ」を企画・制作し、 ケーブルテレビで放送しています。	年間52本放送 (詳細) 6月放送なんでも調査隊 「豊中市食育推進計画について」 12月放送特集 「野菜たっぷりランチメニュー」
	8 くらしかんのホームページ	くらしかん		●	●	●	●	●	●	●	平成14年度に生活情報関連システム(くらしネッ ト)を大幅に見直し、くらしかんホームページ(く らしネット)により、消費生活情報を提供していま す。	平成20年度からホームページの傘 下に入り形式はリニューアルしまし たが、引き続き消費生活情報を提供して います。

事業等	事業等	所管	新規 に *印	妊娠 期	幼年 期 0歳 ～ 保護 者	少年 期 6歳 ～ 保護 者	青年 期 15 歳～ 保護 者	壮年 期 25 歳～	中年 期 45 歳～	高年 期 65 歳～	内容	20年度実施状況
インターネット	9 子育て支援ホームページの充実	子育て支援セン ター			●						豊中市ホームページにおいて、子育てに関するさまざまな情報を公開するとともに、最新情報を定期的に更新しています。	各センター月1回更新
	10 ふくしねっと とよなか	地域福祉課 社会福祉協議会		●	●	●	●	●	●	●	豊中市の福祉や健康に関する行政サービス情報をはじめ、ボランティアなどの地域福祉活動情報、介護保険や福祉関連の民間事業者情報などを市のホームページに掲載している。	アクセス数は年々増加し、平成20年度は294,329アクセス。
図書	11 ホームページ 「健康食生活応援」	健康支援室		●	●	●	●	●	●	●	健康づくりを支援する環境づくりを目的に平成18年6月に立ち上げ、生活習慣病予防のためのメニューの提供等を行っています。	食育に関する講座等のご案内を随時行ないました。
	12 くらしのライブラリー	くらしかん		●	●	●	●	●	●	●	食に関する図書・ビデオ等の閲覧・貸出を行っています。	随時
相談対応・指導	13 関連資料提供、読書振興	阿部図書館		●	●	●	●	●	●	●	①食育に関する図書や資料・情報の収集と提供・相談を行っています。 ②食育への関心を深めていくため関連資料の展示などを行っています。	随時
	14 青少年学習支援事業 教育相談支援事業	豊中人権まちづくりセンター		●	●						①子どもに関する相談全般を行っています。 ②学校、家庭、地域における生活の相談事の解決を支援しています。	教育相談99回、子育て相談442回、計880人
	15 福祉なんでも相談窓口	地域福祉課		●	●	●	●	●	●	●	(社会福祉協議会に委託) 校区の福祉委員会と民生・児童委員が連携して「福祉なんでも相談」を実施しています。	平成21年4月現在35ヶ所にて開設。
	16 給食時の指導	障害福祉課				●	●	●	●		栄養バランスのとれた食事を提供することで、生活習慣病の予防に努めています。	毎日実施
	17 グループケアホームでの相談	障害福祉課				●	●	●	●	●	共同生活を行なう住居で、相談や入浴、排泄、食事等生活上の援助や介護などを行っています。	毎日実施
	18 障害者通所施設、生活介護事業 所での食事提供時にける情報提供	障害福祉課				●	●	●	●		専門職員が個々人の障害に応じた工夫をするなど共に、その内容を家族に情報提供することで、摂取する食料や食事を楽しむことができる場面の多様化を促しています。	毎日実施
	19 母子健康手帳交付時の指導	健康支援室		●							母子健康手帳交付時において、食に関する知識の普及や相談に応じています。	随時行っています。指導人数3,678人

事業等		所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25歳 ～	中 年 期 45歳 ～	高 年 期 65歳 ～	内 容	20年度実施状況
相談 対 応 ・ 指 導	20	妊産婦・乳幼児電話相談		●	●						①妊産婦・乳幼児の保護者等の電話による相談に対して、保健師、栄養士、歯科衛生士、助産師等が相談に応じています。 ②健診後に育児状況など確認が必要と思われる対象者に対し保健師等から電話による保健指導を行っています。	妊産婦482人、乳幼児3,918人
	21	育児相談		●	●						①各健診や電話相談などで相談を希望したり、必要と思われる対象者に案内し、4会場ですべて実施。 ②地域の校区福祉委員会や保育所などと連携した地区育児相談も実施しています。	開催回数168回、延べ1,612人相談
	22	アレルギー講演会		●	●	●	●	●			医師などによる講話を開催しています。また必要に応じて保健指導を行っています。	開催回数3回、受講数153人
	23	健康相談						●	●	●	生活習慣病予防・介護予防・歯・栄養・心など健康に関する相談に電話や面談で応じています。 ①面接相談（糖尿病、病後別食生活、歯科、リハビリ相談など） ②電話相談	実施回数1,144回、実施人数4,290人
	24	○1歳8か月のひかりちゃん歯科相談 ○「2歳のにこりちゃん歯科健診」 ○「パパ・ママ歯科相談」		●	●						1歳6か月健診の結果ハイリスクと判定された幼児とその保護者を対象に、歯科衛生士による個別相談及び健診を、4会場を実施しています。	ひかりちゃん対象919人受診児479人、にこりちゃん対象児1,022人受診児531人、ひかり・にこり実施回数各24回、パパママ受診数186人、実施回数24回。
	25	妊産婦・乳幼児訪問指導		●	●						必要と認められた人に対し保健師または助産師・栄養士等が家庭訪問を行い、個々の状態に応じた保健指導や必要な援助を行っています。	訪問数2,849（妊婦32、産婦993、新生児865、乳児392、幼児464、その他103）
	26	4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児健診時の保健指導		●	●						①4か月児健診では、第1子に対して離乳食などについて集団指導を実施しています。 ②1歳6か月児健診及び3歳6か月児健診では、栄養士や保健師などが相談や保健指導を行っています。	132回実施9,498人受診
	27	歯科健診時の保健指導		●	●						対象者に健診日程を個別通知し、集団健診で歯科医師による健診をはじめ、歯科衛生士による相談や保健指導を行っています。	1歳6か月児健診時 3,213人、3歳6か月児健診時2,911人
	28	骨粗しょう症検査時の保健指導				●	●	●	●	●	18歳以上の女性を対象に、骨粗しょう症集団検診を行っています。 ○超音波によるかかとの測定	

事業等		所管	新規 に ＊印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25歳 ～	中 年 期 45歳 ～	高 年 期 65歳 ～	内 容	20年度実施状況
相談 対 応 ・ 指 導	29 訪問指導	健康支援室						●	●	●	保健師・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士・栄養士が家庭を訪問し、介護や療育方法、健康管理に必要な事項を指導しています。	実施人数(実) 144人(延) 646人
	30 口腔ケア訪問	健康支援室		●	●	●	●	●	●	●	疾病・認知症などで在宅での介護が必要な状態の人に対して歯科衛生士が訪問し、口腔ケアを行ない、健康の維持増進を図り、生活の質の向上を図っています。また要介護者の家族に歯科保健に関する知識や手法を具体的に説明・指導しています。	延べ479件
	31 骨密度測定時の保健指導	保険給付課				●	●	●	●	●	健康長寿参加市民を対象に、市民が自己の健康管理をするための支援として骨密度測定及び保健師による指導を実施しています。	開催回数…1回 参加人数…266人
	32 人間ドック受診時の保健指導	保険給付課						●	●	●	人間ドック受診対象者(20年度より30歳以上74歳以下)に対し、医療機関が個別指導を実施しています。	人間ドッグ…1,413人 胸ドッグ…130人 セット…1,160人
	33 特定健診	健康支援室 (20年度は医療給付課)	＊			●	●	●	●	●	平成20年度より医療保険者に、被保険者及び被扶養者(いずれも40歳～74歳)を対象とする健診・保健指導の実施が義務付けられました。	個別健診13,061人、集団健診1,165人、人間ドッグ1,763人
	34 特定保健指導	健康支援室	＊			●	●	●	●	●	特定健診を受診した結果、メタボリックシンドロームやその予備群と判定した人に対して、生活習慣を振り返り、その改善につなげるための特定保健指導を実施しています。	動機付け体験：155人、積極的支援：22人(見込み)
	35 子育てつどいの広場事業での相談	子育て支援課		●							つどいの広場において、乳幼児を持つ親とその子どもが集う場所の提供や育児相談などを実施し、地域の子育て支援の充実をはかっています。「あっぱるカーテン」で伝承野菜・草花栽培・収穫などもしています。	利用人数延べ5,972人
	36 放課後こどもクラブでの指導	子育て支援課			●						放課後、帰省しても保護者が仕事などで家庭に不在の市立小中学校の1年生から3年生(支援学校在籍の児童及び本市に居住する支援学校在籍の児童は6年生)までの児童の健全育成をはかっています。	三季休業期間中(春・夏・冬休み)のの 園食(弁当)及び毎日のおやつ時に手洗 い・着席等の指導を行っています。
	37 育児支援家庭訪問事業	子育て支援セン ター		●							児童の育児支援が必要でありながら、自ら支援を求めて行くことが困難な状況にある家庭に対して、家庭に訪問し育児に関する相談や助言等の支援を行っています。	訪問件数 69件82回

事業等		所管	新規 ＊印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 6歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 15歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 25歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25歳 ～ 45歳 ～	中 年 期 45歳 ～ 65歳 ～	高 年 期 65歳 ～	内 容	20年度実施状況
相談 対 応 ・ 指 導	38 子育て支援センターの相談事業	子育て支援セン ター			●						育児、食育、健康などについての相談指導（電話、面談、訪問、出前相談）を子育て支援センター・地域支援保育士が行っています。	相談内容件数16,052件
	39 子育て心の悩み相談事業	こども家庭相談 室			●						子育ての悩みや不安、子どもの心身の発達に関する相談を受け、必要な場合は支援サービスにつなぐための調整を行っています。	191件
	40 子育てすこやか・ふれあい訪問事業	こども家庭相談 室			●						4ヶ月児、1歳6ヶ月児健診未受診家庭等を訪問し、家庭の状況把握、子育て相談指導等を通じて、当該家庭を早期に必要な各種の養育支援につなげることににより、児童虐待を未然に防止し、児童の心身の健全な発達をはかっています。	6月3日で終了 4月児対象家庭14件 訪問回数18件 1歳6ヶ月児30件 58回（H20年4～6月）
	41 こんにちは赤ちゃん事業	子育て支援セン ター	＊		●						生後4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、授乳状況など親子の心身の状況の把握、および助言を行う。また、子育てに関する情報提供を行う。	平成20年7月から実施。訪問人数 2,725人（新生児訪問も含む）
	42 個人栄養食事指導事業	市立豊中病院栄養 管理課		●	●	●	●	●	●	●	医師の指示による、疾病別の個人栄養食事指導を行っています。	指導人数1,455人。
総合的 情 報 提 供	43 ふれあい看護での相談事業等	市立豊中病院 看護部		●	●	●	●	●	●	●	①看護の日イベントを行っています。 ②栄養管理課では各種生活習慣病の食事による予防及び治療についてのパネル展示、骨密度測定・血糖測定・体脂肪測定後の異常値が出た方への無料栄養相談などを行っています。	開催回数1回。参加人数23人。
	44 環境情報サロンにおける情報提供等業務	環境政策室		●	●	●	●	●	●	●	（NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21に委託）環境関連の図書・雑誌の閲覧、インターネットを活用して環境関連情報の発信・提供・アドバイスなど。	来館者数：3,450人（平成21年2月 末日現在）
	45 子育て支援センターほっぺ事業	子育て支援セン ター			●						①地域子育て支援センターを統括する中核施設として、子どもの視点に立った子ども施策の企画調整、子育て・子育て情報の受発信や相談、子育て講座（手づくりおやつ講座）、地域の子育て支援する人材の育成等を行い、さまざまな子育て・子育て支援活動をサポートしています。 ②地域福祉計画の保健・福祉・医療の関係機関と連携して全体的な子育て支援のネットワークづくりを進めています。	①プレイルーム利用人数8094組 17172人

事業等		所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25歳 ～	中 年 期 45歳 ～	高 年 期 65歳 ～	内 容	20年度実施状況
総合的情報提供	46	地域子育て支援センター事業	子育て支援セン ター		●						①6ヶ所の地域の子育て拠点施設として、子育て相談、情報提供、子育てサークルの育成、遊びや交流の場の提供等を行っています。 ②地域支援保育士とともに、「地域福祉ネットワーク会議子ども部会」を運営、住民や関係機関・団体との連携のもと地域の子育てネットワークづくりに取り組んでいます。	①地域支援センター6ヶ所のプレイ ルーム利用人数 14,322組30,422人
	47	子育て支援事業 あそびの広場	豊中人権まちづ くりセンター		●						来館する子どもたちが菜園活動を行っています。 「作る」「育てる」「食べる」をキーワードにした体験を通じ、自分の身体や生命を大切にすることを学びます。	20回、240人
交流・体験機会の提供	48	子育て支援事業 親子教室・暮らしインパークラ 親子交流会	豊中人権まちづ くりセンター		●	●					菜園活動で収穫した食材を使って調理をしながら人との交流を深めたり、会食を通して、支えあえる仲間づくりを支援します。	4回、85人
	49	ささえあい参加型食卓	豊中人権まちづ くりセンター						●	●	園芸ボランティアが育てた老人憩いの家の作物や身近な食材で成人病予防等健康管理・高齢者等の食事配膳した調理ボランティアによる調理を学び皆で会食しています。	22回、817人(食生活に課題のある高 齢者、障害者を対象)
	50	給食	障害福祉課			●	●	●	●		①おいしく、安全に、仲間と楽しく食事をする場を提供しています。 ②季節の行事食を提供しています。	毎日実施
	51	給食センターの見学対応	広報広聴課、給 食センター	●	●	●	●	●	●	●	市民等(団体)からの要望により、学校給食セン ターの施設見学を実施しています。	広報広聴課関係分 1回、11人参加(11月実施)
	52	「親と子の遊びのひろば」パン ダグループ	子育て支援セン ター	●							①2,3歳の子どもの保護者を対象に、人権を尊 重した保育を基本に遊び提供・情報提供を行ってい ます。その中で、保護者同士が子育ての楽しさを実 感し、悩みを出し合う場をもち、保育所とともに地 域の中でつながっていきける子育て支援をしていま す。 ②パンダグループの中で、大勢の子どもとともに保 育所の給食体験を行うことで食事の楽しさを味わっ ています。	②「親と子の遊びの広場」パンダグルー プ 771組参加
	53	青少年野外活動事業	青少年課			●	●				(各)種野外活動をNPO法人豊中市青少年野外活動 協会に委託。平成18年度 ①キャンプ・スキークール(小学3、4年) ②ジュニアサマーキャンプ(小学5、6年) ③トレッキングキャンプ、サイクリング(中学生) ④ファミリーキャンプ(小学生とその家族) ⑤雪遊び・スキー遊び(小学生とその家族)など	NPO法人豊中市青少年野外活動協会 に委託 ①創作キャンプ：参加人数35人 ② ジュニアサマーキャンプ：参加人数 24人 ③サイエンスキャンプ：参加 人数39人 ④ファミリーキャンプ： 参加人数71人 ⑤キャンプビクス クール：参加人数39人

事業等		所管	新規 に ＊印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25歳 ～	中 年 期 45歳 ～	高 年 期 65歳 ～	内 容	20年度実施状況
交流・体験機会の提供	54	青少年自然の家主催事業	青少年課	●	●	●	●	●	●	●	自然の中で、各種野外活動、創作活動、自然体験などの事業を実施。平成18年度は、1泊2日の事業を2事業、日帰り事業を2事業を実施しました。	NPO法人豊中市青少年野外活動協会に委託 ①ロビンフッドキャンプ(1泊2日)：参加人数39人 ②熊鷹のせふードキャンプ(1泊2日)：参加人数47人 ③オーブンファエスタ(日帰り2日間)：延参加人数236人 ④里山の秋ファエスタ(日帰り2日間)：延参加人数319人
	55	三世交代交流事業	青少年課		●	●				●	協働事業としてNPO 法人シニア自然大学と高齢介護課と共催	①初夏の里山で昆虫と遊ぼう(日帰り)：参加人数58人 ②みんなで楽しく川遊び(日帰り)：参加人数40人 ③春の野山は楽しいな(日帰り)：参加人数57人 ④秋空のもとみんなで遊ぼう(1泊2日)：参加人数53人
	56	青少年自然の家における給食の提供	青少年課	＊	●	●	●	●	●	●	青少年自然の家の給食メニューを食育の観点から見直しを行った。平成20年度(5月12日から新メニュー開始) 給食利用団体：107団体	
	57	地域教育協議会(すこやかネット)	地域教育振興課		●	●	●	●	●	●	中学校区を単位として、料理講習会を様々な世代が関わりながら実施したり、食をテーマにした講演会等の開催を通じて、世代をつなぐ事業を展開しています。	中学校区を単位として稲作体験やフェスタの中で食につながる取組みを行った
	58	地域子ども教室	地域教育振興課		●						小学校区を単位として、小学生が地域の大人から料理やマナーなど、学校教育では体験できない様々なことを交流しながら学んでいます。	小学校区を単位として小学生が地域の大人から料理や食文化についての講義を受けるなど、学校では学べない様々なことを交流しながら学んだ
	59	市民農園	農業委員会			●	●	●	●	●	①野菜から鮮魚、契約事務 ②若菜処理 ③栽培講習会 ④運営費助成事務等 ①～④の事業推進による農地の活用及び都市農業・食育の啓発をはかっています。	1区画約15㎡を23ヶ月利用 29農園、1,288区画
	60	青少年学習活動支援事業 学習機会提供事業	豊中人権まちづくりセンター			●					①シェンボークラブや、春・夏休みに「ルンルン・ワクワク教室」でお菓子作りを行っています。色々な食材に触れ、栄養師や調理師を友達と楽しみながら学びます。	「おかしづくり教室」小4～中学生対象。12回、244人

事業等		所管	新規 に ＊印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 6歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 15歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 25歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25歳 ～ 45歳 ～	中 年 期 45歳 ～ 65歳 ～	高 年 期 65歳 ～	内 容	20年度実施状況
名 種 類 理 教 室 ・ 講 演 会 ・ イ ベ ン ト	61	とよなか市民環境展	環境政策室、市 環境会議ア ジェンダ21	●	●	●	●	●	●	●	(豊中市教委・とよなか市民環境会議・NPO法人 とよなか市民環境会議アジェンダ21と共催)市 民、事業者、行政の環境問題解決に向けての取り組みの発表・交流の場。概ね、12月第1もしくは第 2週に実施しています。	とよなか市民環境展2008「たんげ ん、ぼっけん、かんぎょうでんへ～中 からできることを見つけよう～」 の開催 参加者数：3,400人
	62	環境学習の推進	環境政策室	●	●	●	●	●	●	●	①平成16年6月28日設置した環境情報サロンの運 営。 ②環境報告書を読む会の開催。 ③交通環境学習の実施 ④市民・事業者などが環境への理解を深め、環境 に配慮した生活行動や事業活動を行うための支援。 ⑤環境総合情報システムの学習情報の更新。 などを行っています。	・交通環境学習「重大集合」 実施校：3校 参加者数：約300 人 ・エコイズ大会 参加校：13校 参加者数：約 1500人 ・フードマイレージ研修会 豊島北小学校の教職員対象 参加者 数：約30人 ・出前講座の実施 3件 参加者数：延べ約100人 ・環境報告書の勉強会 参加者数：約 大阪大学学生対象 参加者数：約 15人 ・環境フォーラム2008の開催 参加 者数：87人 ・ストップ！地球温暖化デー記念講演 会の開催 参加者数：88人 ・学習教材「小学生の環境学習のりち の編」作成 部数：1000部
	63	エコクッキング	減量推進課				●	●	●	●	料理にかかるすべての事柄のムダを思いつく限り省 く「もったいない」活動の実践を実施しています。	20年度は、未実施
	64	くらしかん祭り	くらしかん	●	●	●	●	●	●	●	①消費者問題等を楽しく学んでもらうことを目的に 毎年統一テーマを決め、様々な催しをくらしかん全 体で行う消費者啓発イベントを開催しています。 ②平成10年度からくらしかん登録グループとと ちに実行委員会体制で企画運営をしています。	平成20年度から名称を変更。 参加人数1,123人。
	65	子どもの消費者教育講座	くらしかん			●					小学生対象の消費者問題啓発講座の中で食に関する 講座を実施しています。	3回
	66	くらしの教員セミナー	くらしかん								小中学校技術家庭科教員対象の消費者問題啓発講座 (年2回)を実施しています。	2回

事業等		所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25歳 ～	中 年 期 45歳 ～	高 年 期 65歳 ～	内 容	20年度実施状況
各種料理教室・講演会・イベント	67 消費者啓発講座	くらしかん		●	●	●	●	●	●	●	①くらしの専門講座：一つのテーマを様々な角度から専門的に学ぶシリーズ講座。 ②くらしの一日講座：消費生活の基礎知識を学ぶ講座 ③消費者月間行事：消費者月間の5月に内閣府の統一テーマに沿って行う啓発事業として食に関する講座を開催しています。	
	68 くらしの研究発表会	くらしかん		●	●	●	●	●	●	●	くらしに関する問題について、調査・研究をしている消費者グループなどに発表の機会の提供を毎年行っています。	
	69 生活情報ひろば事業（市民啓発業務等）	くらしかん		●	●	●	●	●	●	●	（とよなか消費者協会に委託） 平成18年8月に制定した「豊中市の消費者のくらしを守る条例」に基づいて開設した「生活情報ひろば」において、くらしかん登録グループ主体による消費者啓発講座・展示等の中で、食に関する講座・展示を開催しています。	パネル展示6回、地産地消イベント12回、講演・講習会15回
	70 介護予防教室	高齢介護課								●	特定高齢者（要支援・要介護状態等となるおそれの高い、虚弱な状態にあると認められる65歳以上の者）を対象に「運動器の機能向上」「低栄養改善」「口腔機能向上」等の介護予防教室の開催しています。	運動器の機能向上教室：19教室、人数（延）2039人 口腔機能の向上教室：12教室、人数（延）550人 栄養改善相談：4教室、人数（延）80人
	71 妊婦教室「フレンドリーコース」	健康支援室		●							乳幼児健診会場とその近隣の地域子育て支援センターを会場として1コース2回実施。育児のイメージ作りや先輩ママとの交流などを目的に保健師・助産師が従事しています。	102回開催、2083人参加（母親1592人、父親487人、他4人）
	72 お父さんのための子育て教室	健康支援室		●							初妊婦と男性を対象に、男性による沐浴実習、妊婦体験、各種サービスの紹介等を行う。隔月に1回、土曜日の午前・午後を実施しています。	
	73 カンガルークラス	健康支援室		●							栄養士による、妊娠中の食生活、栄養についての講話。毎月1回開催しています。	実施回数12回。受講数82人。
	74 マタニティママと家族のためのデンタル教室	健康支援室		●							妊婦と家族を対象に、歯科衛生士による妊娠期からのお口の健康づくりの話を、歯みがきとデンタルフロスの実習を行っています。隔月に1回。	実施回数5回。（1回中止のため）。 受講数77人

事業等		所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 6歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 15歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 25歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25歳 ～ 45歳 ～ 保 護 者	中 年 期 45歳 ～ 65歳 ～ 保 護 者	高 年 期 65歳 ～ 保 護 者	内 容	20年度実施状況
各種料理教室・講演会・イベント	75	離乳食講習会			●						離乳食に関する知識・情報の提供 ○会場 千里保健センター、庄内保健センター ○回数 前期（ごっくんクラス）・後期（かみかみクラス）年24回ずつ実施。	ごっくんクラス 実施回数24回参加者数821人、 かみかみクラス 実施回数24回、受講者数693人
	76	幼児食講座	*		●						幼児食に関する知識・情報の提供 ○会場 千里保健センター、中野保健センター、庄内保健センター	実施回数16回、受講者数133人
	77	地区健康教室・介護教室（出前健康教室）						●	●	●	健康に関するご希望のテーマを保健師、栄養士、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士等が地域の会場に出向き、講演します。	実施回数338回、参加人数8,781人
	78	「やって納得！体験型健康セミナー」	*					●	●	●	メタボリックシンドロームなど生活習慣病予防に焦点をあてた栄養・運動についての気軽に楽しい体験学習。（特定保健指導の場としても活用）	実施回数18回、参加人数360人
	79	生活習慣改善講座（面接型・通信型）						●	●	●	血液検査などの検査データと、生活習慣調査票から個人の課題を抽出し、各人にあった目標を決め、実践できるような支援する講座を開催しています。期間は2か月間。 ①「面接型」：集団指導1回・個別面談3回・運動教室4回（希望者）。 ②「通信型」：データの分析・課題についてはインターネットを利用し、福岡大学のサポートシステムを活用して抽出し、この結果に基づいて受講者に対して郵送等のやり取りにより指導しています。（特定保健指導の場としても活用）	面接型・通信型とも、個別相談を中心 に一人一人にあった健康プランをつくり、生活習慣の改善を支援する教室 （3ヶ月/1クール）。実施回数145回、参加人数201人
	80	すぐすくよい歯の教室			●						乳幼児期の歯科保健に関する知識の普及、啓発講話・健診。3会場を実施しています。予約制。13年度より内容を見直し、1回2日制に変更しましたが、15年度より、内容を維持しつつ、受講者の利便性を考え、1回1日制に変更しました。	開催回数18回、受講者952人
	81	子育てに関する講座等の開催			●						子育て支援センターでは親子・同年齢の子どもと一緒に「おやつ作り」、作る楽しさを感じ、家庭でも親子のふれあう機会として知らせる「おやつ講座」を行う。また、「センター講座」では子どもの育ちや健康・食育・かわり方について等の話を提供すること、保護者にとっても育児不安の軽減や子育てに関する情報を得る機会とする。	「おやつ講座」2回 「センター講座」での食育に関する講座10回

事業等		所管	新規 に ＊印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25歳 ～	中 年 期 45歳 ～	高 年 期 65歳 ～	内 容	20年度実施状況
各種料理教室・講演会・イベント	82	ほのほのママ教室	市立豊中病院米 食管理課	●							ほのほのママ教室の3回シリーズの内1回で「食事 バランスガイド」による妊娠中の食品摂取の目安及 び、鉄分・カルシウムの不足予防などの理解を深め ています。	開催回数15回・参加人数127人。
	83	糖尿病教室	市立豊中病院米 食管理課		●	●	●	●	●	●	糖尿病教室の7回シリーズの内2回で「糖尿病食 療法：基礎編」「糖尿病食事療法：応用編」を開催 しています。	開催回数49回・参加人数283人。
	84	慢性腎臓病教室	市立豊中病院米 食管理課	＊	●	●	●	●	●	●	慢性腎臓病教室の4回シリーズの内2回で「慢性腎 臓病の食事療法の実践：総論」「慢性腎臓病の食事 療法の実践：各論」を開催しています。	開催回数4回・参加人数57人。
	85	とよなか俱樂部（糖尿病患者の 会）	市立豊中病院米 食管理課		●	●	●	●	●	●	糖尿病患者の会の一活動として、糖尿病食の講習及 び調理実習を行い、糖尿病食への理解を深めていま す。	開催回数1回・参加人数36人。
	86	がん治療セミナー	市立豊中病院緩和 ケアチーム		●	●	●	●	●	●	がんサポートプログラム「がん治療セミナー」の一 環として7回の内1回で「がんと食事の関係」につ いて理解を深めています。	開催回数2回・参加人数30人。
	87	市民館講座	中央公民館	●	●	●	●	●	●	●	市民を対象にした公民館講座（単独事業）の企画運 営。必要課題（現代的課題）と要求課題のバラン スを勘案して設定。また平成16年度より国補事業 の廃止により市単独事業へ移行しました。	開催回数17回・参加人数306人
講師派遣 その他啓発	88	農業祭	農業委員会、豊 中市農業経営者 協議会	●	●	●	●	●	●	●	年1回（11月の第3土曜日）、農協等と実行委員 会形式で実施しています。市内で栽培された野菜 や観葉植物等の即売、湧き湯、もちつき大会等の実 施による都市農業・食育の啓発を行っています。	参加人数 7,000人
	89	出前講座	広報広聴課	●	●	●	●	●	●	●	市民（団体）や学校等が主催する、食育や生活習慣 病の予防（食事編）に関する講座に、講師（市職 員）を派遣しています。申込制。	全テーマ147件、5,595人（うち食 育関係テーマ13件、705人）
	90	「食育月間」「食育の日」 の啓発	健康支援室	＊	●	●	●	●	●	●	毎年6月を食育月間、毎月19日を食育の日として 啓発を行っています。	広報6月号特集「見つめてみよう食育 すること」
	91	「食事バランスガイド」の啓発	健康支援室	＊	●	●	●	●	●	●	食育講座などにより食事バランスガイドの啓発を 行っています。	カンガルークラス、幼児食講座、大人 のための食育講座等で実施。
	92	事業者に対する食事バランスガ イドや栄養成分表示の働きかけ	豊中保健所	●	●	●	●	●	●	●	事業者に対する食事バランスガイドや栄養成分表示 の働きかけを行っています。	

事業等		所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25歳 ～	中 年 期 45歳 ～	高 年 期 65歳 ～	内 容	20年度実施状況
その他啓発	93	給食施設への食育推進支援		●	●	●	●	●	●	●	①給食施設における喫食者に対する食育推進を支援しています。 ②豊中集団給食研究会の運営を支援しています。	19回・延べ216施設・延べ239名
	94	「うちのお店も健康づくり応援団」の普及・啓発		●	●	●	●	●	●	●	「うちのお店も健康づくり応援団」の普及・啓発を行っています。	H20年度新規 55店舗、H20年度までの累計 369店舗 ・「うちのお店も健康づくり応援団」商店街マップの作成 ・作成したマップの啓発イベントを実施（体育の日イベントにて、約100名） ・保育園児による「うちのお店も健康づくり応援団」のお店探検（1回・園児12名・探検した飲食店12店舗）
食品・医薬品・地産地消	95	生ごみ・剪定枝堆肥化事業	公園みどりの推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワーク	●	●	●	●	●	●	●	①学校給食センターから出る調理くずや給食の食べ残しに、公園や街路樹から出る剪定枝をチップ化したものを混合し堆肥化しています。 ②できあがった堆肥（とよっぴー）は土壌改良材として、市内等の農地、公園や緑地、学校・保育園、各種イベントなどで配布・頒布し、また、「とよっぴー」を使った農園で農産物を生産することなどに活用し、循環型社会推進の啓発を行っています。 ③豊中市内の農家の協力をいただき、「とよっぴー」を使って育てた野菜等を学校給食の食材に提供し、地産地消の取組みを行っています。 ④野菜の植え付け・収穫などの体験型学習及び小学校等に出向いて野菜作りや資源循環等について話を聴く環境教育を実施しています。 ⑤市内外からの堆肥化施設の見学を受け入れています。 ⑥家庭での生ごみ発生抑制等を目的に、堆肥化講習会や野菜作りについての講習会を実施しています。	①堆肥（とよっぴー）の配布・頒布：約110トン ②堆肥（とよっぴー）の配布・頒布及び各種啓発事業を実施 ③学校給食への食材提供：36回、9種類 ④体験型学習及び環境教育出前講座：53回、4,144人 ⑤見学・視察対応：29回、1,083人 ⑥堆肥化講習会及び野菜作り講習会：20回、221人
	96	市民公益活動推進のための情報提供	コミュニティ政策室、NPO法人とよなか市民活動ネットワーク	●	●	●	●	●	●	●	（運営は、公募により市民公益活動団体に委託） 「市民活動情報サロン」（豊中野舎内）にて、市民の自主的・自発的な社会貢献活動（市民公益活動）に関する情報提供や相談等を実施しています。	20年度サロン来場者数 4,668人（3月末現在）

事業等		所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 保護 者	少 年 期 6歳 ～ 保護 者	青 年 期 15歳 ～ 保護 者	壮 年 期 25歳 ～	中 年 期 45歳 ～	高 年 期 65歳 ～	内 容	20年度実施状況
市民による自主的 活動への支援	97	市民公益活動推進助成金		●	●	●	●	●	●	●	分野を問わず、公費し、市民公益活動事業に必要な経費の一部を助成。市民公益活動団体の自立的・継続的な発展を支援することにより、市内の市民公益活動全体の推進を図る制度です。	20年度助成金交付団体数 10団体、助成額 計2,001千円
	98	市民による環境活動への支援 (豊中アジェンダ21の普及・促進)		●	●	●	●	●	●	●	「とよなか市民環境会議」の事務局として、ネットワーク組織としての活動、ならびに構成団体である市民団体・事業者が主体的に取り組む環境活動を促進する。また、「豊中アジェンダ21」の推進組織である「NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21」が主体的に行う普及・啓発活動や実践活動を支援しています。	・とよなか市民環境会議議会の開催 参加者数：約120人 ・とよなかエコ市民賞表彰式の開催 参加者数：88人
	99	消費者活動の支援									消費者団体について、登録制を実施し、定例会の開催や事業（リサイクルバザー・くらしかん祭り・講座等）を市と協働で行うことにより、活動の促進支援を図っている。また、使用申込を一般申込の2か月前から3か月前に應遇し、また「生活情報ひろば」を活動・交流の場として提供して活動の支援を行っている。	
	100	健康づくり推進員会への支援		●	●	●	●	●	●	●	活動への交付金の支払、講師派遣、活動情報の提供などを行っています。	校区健康教室 開催回数34回、参加人数1,206人
	101	子育てサークルの育成		●							「ほっぺくらぶ」は地域の人材を活用し子育てボランティアの育成・支援を行い、その力を地域に広げている。	
	102	豊中市子ども会連合会の育成				●					(市内の各地域で活動している子ども会(単位子ども会)が集まって、組織している豊中市子ども会連合会に事業委託) 子ども会活動事業・子ども会カーニバル(5月)・豊中市・鳴門市子ども会交歓会(7月)・子ども会連合会キャンプ(8月)などを実施しています。	豊中市子ども会連合会の事業補助などの支援を通して、市内子ども会の育成を図っています。市ご連合会：計3回 述べ参加人数152人
	103	子どもセミナー・家庭教育セミナー講師謝礼金助成事業			●	●	●				学校や地域で行われる、青少年の健全育成をテーマとするセミナー等に関して、講師の謝礼金を助成しています。 ①子どもセミナー：子ども向けプログラム ②家庭教育セミナー：おとな向けプログラム	・子どもセミナー講師謝礼金助成：計15回 参加人数2,356人 ・家庭教育教育セミナー講師謝礼金助成：計15回 参加人数788人

事業等		所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25歳 ～	中 年 期 45歳 ～	高 年 期 65歳 ～	内 容	20年度実施状況
市民による自主的活動への支援	104	市民館登録グループ活動支援	中央公民館	●	●	●	●	●	●	●	①自主的・継続的に社会教育活動を行う小集団の育成・支援（活動場所の確保及び施設使用料の免除）を行っています。 ②グループ活動成果の社会還元として、人材バンクに登録し、完全学校週5日制に関わる事業や総合的学習時間の講師および公民館講座の講師として要請により派遣しています。	
	105	公民館活動への支援	中央公民館	●	●	●	●	●	●	●	地域にねざした社会教育活動を推進します。春秋講座、体育祭、文化祭、人権学習講座、家庭教育学級など、地域教育力を高めるため重要な役割を果たしている公民館に対して、その活動が展開するように本館共催事業をはじめ、分館出前講座、情報提供、指導助言を行っています。	開催回数4回・参加人数227人
	106	豊中市農業経営者協議会との協働による都市農業の振興	農業政策委員会				●	●	●	●	①郊外ごとに事業を実施しています。 ○指導者部会―協議会の基本事項等について協議。 ○研究部会―豊中まつり、農業祭において新鮮野菜を安価で販売。市民農園技術指導、農業講座等を実施。 ○花井部会―花井の栽培技術の向上等の調査、研究を実施。 ②上記事業を実施している協議会との連携・協働による地産・地消の推進、都市農業・食育の啓発を行っています。	学校、保育所給食の副食用野菜の納入、玉ねぎ4トン他
	107	学校・保育所・幼稚園・保護者等への食育推進	豊中保健所		●	●					①食育情報を提供しています。（おがき配布、ビート・おあざか食育通信） ②子どもや保護者を対象とした食育実施への支援をしています。（保護者対象食育講座2回・46名、子ども対象食育実施2回・150名、親子対象食育健康教室4回・320名） ③指導教材の紹介をしています。（随時） ④講師紹介をしています。（随時） ⑤食育体験学習先を紹介しています。（随時）	①食育情報を提供しています。（おがき配布、ビート・おあざか食育通信） ②子どもや保護者を対象とした食育実施への支援をしています。（保護者対象食育講座2回・46名、子ども対象食育実施2回・150名、親子対象食育健康教室4回・320名） ③指導教材の紹介をしています。（随時） ④講師紹介をしています。（随時） ⑤食育体験学習先を紹介しています。（随時）

事業等		所管	新規 に ＊印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳～ 保 護 者	少 年 期 6歳～ 保 護 者	青 年 期 15歳～ 保 護 者	壮 年 期 25歳～	中 年 期 45歳～	高 年 期 65歳～	内 容	20年度実施状況
地域による自主的活動への支援	108 食育指導者研修会	豊中保健所		●	●	●	●	●	●	●	学校・幼稚園・保育所関係者、給食関係者、食ボランティア、健康づくり関係者などを対象に、食育に関するライフスキルを育む手法など食育実践に役立つ、指導者のための研修会を開催しています。	2回65名
	109 地域活動栄養士会の育成・支援	豊中保健所		●	●	●	●	●	●	●	保健所が進める食育に、地域活動栄養士会トウデイの食育活動を運動させ、活動についての助言や情報提供、指導媒体の開発支援、活動先の紹介を行っていきます。	
関連機関の連携	110 国連・持続可能な開発のための教育（ESD）の10年の取組み	環境政策室、NPO法人とよなが市民環境会議、アジェンダ21・他		●	●	●	●	●	●	●	庁内外に向けてESDについての学習会・研修等を実施し、ESDの概念の周知とともに、各分野と連携・協働しながら、ESDの取組を取り入れた取組みを進めています。	・ESDセミナー(全4回)の開催 参加者数：延べ138人 ・ESDセミナーフレットの作成 部数：500部 ・職員課題研修「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年の意義と役割～ESDの学び合い」の開催 参加者数：14人
	111 子育て・子育てネットワークづくり	子育て支援センター、社会福祉協議会		●							地域子育て支援センター、地域支援保育士が中心になってコミュニケーションワークと各小学校区の地域活動を支援するために、関係機関や団体との連携を図りネットワークづくりを進めています。	校区連絡会31小学校区33回実地
	112 地域教育協議会（すこやかネット）	地域教育振興課		●	●	●	●	●	●	●	市内全中学校区に設置されている地域教育協議会に対して、市が取り組んでいる子ども対策事業の情報の提供や豊中市内全中学校区地域教育協議会の「交流会」「連絡会」の実施や拠点の整備についての支援を行っています。	連絡会の開催5回 (各中学校区代表者) 全体交流会の開催1回(330人) 研修会の開催1回(94人)
	113 子どもの健康づくりネットワーク会議	豊中保健所		●	●	●					食育を通じた子どもの健康づくりを目的に、関係機関が集まりそれぞれの機関が食育として何が出来るか、連携して何が出来るかを話し合っている。構成員は教育委員会、学校給食関係者、健康支援室、地域活動栄養士会、子どもの食を語る会、健康づくり推進員会、花と緑のネットなどの代表者。	3回・延べ32名
	114 地域への食育推進	豊中保健所		●	●	●	●	●	●	●	食育への理解が進むよう、食育情報の提供や講師紹介、講師派遣を行っています。	

2、教育・保育の取り組み

出版 物	事業等	所管	新規 に ＊印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25歳 ～	中 年 期 45歳 ～	高 年 期 65歳 ～	内 容	20年度実施状況
	1 食に関する情報発信「産おい しいクッキング」「びびびよ (離乳食の進め方)」「食育だ より」等	各保育所・園、 幼稚園、幼児教 育課・あゆみ学 園※1・しいの 実学園※2			●						レシビや食べ物に関する情報などを通じて、保護者 に食育の重要性を伝えています。	各保育所・園、幼稚園において、年間 を通じて実施。
	2 保護者向けに発行する通信	豊中市私立幼稚園 園連合会加盟幼 稚園			●						栄養士等による食育に関する記事を掲載していま す。	おおむね月1回発行
	3 給食の献立表等の保護者への配 布	各保育所・園、 学校給食課、あ ゆみ学園※1・ しいの実学園※ 2共通			●	●					レシビ、栄養士からの助言などを掲載しています。	毎月1回。全児童に配布。小学校は月 1回約20,000枚
	4 教室向け給食だより「もぐも ぐ」、栄養メモ	学校給食課			●	●					毎月、教室掲示用に低学年、高学年別に給食だより 「もぐもぐ」、献立カレンダー、栄養・食品に関す る一ロメモを発行しています。	月1回各クラス1枚ずつ、一ロメモは 4～5種
	5 お弁当づくりの冊子	学校給食課			●	●					お弁当づくりの冊子を6年生児童に配布していま す。	発行部数 3,800部
相 談 対 応 ・ 指 導	6 給食・弁当時の指導	各保育所・園、 幼稚園、小学 校、あゆみ学園 ※1・しいの実 学園※2共通			●						①食前食後の食事への感謝を指導しています。 ②食べ物を大事にし、残さず食べることを指導して います。 ③食事マナーを指導しています。 ④嫌いなものでも一口食べるなど、偏食改善を指導 しています。 ⑤献立に使われた食材について話題にしています。	毎日実施。
	7 集会時の指導	豊中市私立幼稚園 園連合会加盟幼 稚園			●						①朝食をゆっくり食べてから登園するよう指導して います。 ②嫌いなものでも一口食べるよう指導しています。	随時実施
	8 一年生給食開始事前指導	学校給食セン ター				●					新1年生の給食開始前に児童の給食への関心を高め るため、学校給食を担当する栄養士・調理員が訪問 を行っている学校もあります。	6校で実施
	9 歯科健診の実施	保育課 保健体育課			●	●					虫歯の早期発見、受診勧告を目的とした歯科健診を 実施しています。	年1回実施

※1 あゆみ学園：知的障害者通園施設
※2 しいの実学園：肢体不自由児通園施設

事業等		所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25歳 ～	中 年 期 45歳 ～	高 年 期 65歳 ～	内 容	20年度実施状況
相談 対 応 ・ 指 導	10 歯みがき指導	豊中市民間保育園 園連合会加盟保 育園、市立幼稚 園			●						歯食やおやつの後に行う年齢に応じた歯みがき指導 を行っています。	随時実施
	11 ふれあい子育て相談	各保育所・あゆ み学園※1			●						子育てに関する電話相談と来所（園）による相談を 行っています。	随時対応
	12 幼児教育支援センターでの相談	幼児教育課			●						教育相談や育児相談を行っています。	随時相談を行っている「離乳食」・ 「アレルギー」・「偏食」・「はし、 スプーン」等6件
	13 地域に開かれた幼稚園づくり事 業での相談等	幼児教育課・私 立幼稚園			●						私立幼稚園における「子育て支援事業」（育児・教 育相談など）を実施しています。	9園 68回実施 213件の相談
	14 育児相談・就学前相談	幼児教育課・市 立幼稚園			●						公立幼稚園を会場に、地域の子育て中の保護者に対 象にした専門家による相談事業を実施しています。	各園ごとに幼稚園長や専門の相談員 が、教育相談・就学前相談などに応じ る 42回382人
交 流 ・ 体 験 機 会 の 提 供	15 保育、教育の中で交流体験機会 の提供	各保育所・園、 幼稚園、幼児教 育課、小学校			●	●					①野菜や稲の栽培、収穫物による調理などさまざまな体験を積み重ね、食を学ぶ基礎を育てています。 ②もちつき等の季節行事を催しています。 ③保護者に、実施状況を報告したり、参加・協力の 場を設けることで、家庭への情報発信及び食文化の 伝達や交流を行っています。	①随時実施。②随時実施。保育所で は、各所年2～3回程度。③日常の実 施状況に合わせて随時。
		豊中市私立幼稚 園連合会加盟幼 稚園 豊中市民間保 育園連合会加盟保 育園			●						○園と交流しています。 ○魚のさばき方の見学をしています。 ○年齢に合った調理体験・収穫体験を行っています。 ○季節行事：らっきよ漬・栗拾い・干柿づくり・ 収穫祭などを行っています。 ○茶道体験をしています。	随時実施。園内で農作物を栽培してい る園もあります。

事業等		所管	新規 に *印	妊娠 期	幼年 期 0歳 ～ 保護 者	少年 期 6歳 ～ 保護 者	青年 期 15 歳～ 保護 者	壮年 期 25 歳～	中年 期 45 歳～	老年 期 65 歳～	内容	20年度実施状況
16	給食	各保育所・園、 小学校、あゆみ 学園※1・しい の美学園※2共 通			●	●					①こどもが、おいしく、安全に、楽しく食事をする ことで、心身両面の発育を促して（保障して）いま す。 ②季節の行事食を提供しています。 ③給食の配膳を児童・生徒が自ら行うようにしてい ます。	毎日実施
		豊中市私立幼稚園 園連合会加盟幼 稚園			●						①和食中心のメニューを多くしています。 ②食材そのものの美味しさを知るようシンプルな調 理も取り入れています。 ③希望する園児が、16時のおやつづくりに参加し ています。 ④日常の給食に保護者が参加できる機会を設けてい ます。 ⑤給食を委託する業者を検討するための試食会に保 護者も参加できるようにしています。	毎日実施
17	公立保育所における環境食育推 進事業	保育課			●						①保育活動において、年間を通じて、ゴミの減量や 堆肥作りを行い、併せて食育の推進について計画的 に取り組んでいます。 ②関係部局・団体と連携を図り、他保育所及び保護 者や地域の子育て家庭への情報提供を行っています。	毎日の保育において実施。
18	給食の試食と、給食センター所 長・栄養士による講演会	給食センター、 各小学校PTA			●	●		●			給食の試食と、給食センター所長・栄養士による講 演会を開催しています。	給食センター対象校の37小学校で実 施
19	学校給食週間	学校給食課 給食センター			●	●					「全国学校給食週間」と定められた1月24日～30 日に、各地の郷土料理や世界の料理などを取り入れ た特別の献立を出すことにより、改めて食に感謝す る気持ちや食の大切さを考える取り組みを行っていま す。	41小学校の全児童対象
20	児童の社会見学	各学校			●						学校調理員、栄養士との交流を深め、給食ができる までを見学することに関心を高めています。	5小学校で1年～5年生が給食セン ター見学
21	給食センターの見学（市民向 け）	給食センター						●	●	●	給食センターの様子を見学し、学校給食への理解を 深めています。	3団体が見学のため来所

交流・体験機会の提供

事業等		所管	新規 に ＊印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25歳 ～	中 年 期 45歳 ～	高 年 期 65歳 ～	内 容	20年度実施状況
名 理 料 理 教 室 ・ 講 演 会 ・ イ ベ ン ト	22	各保育所・園、幼稚園、小学校、あゆみ学園 ※ 豊中市私立幼稚園連合会加強幼稚園			●						①栄養素について学んでいます。 ②調理実習を体験しています。	毎日実施。 小学校は随時実施。
	23	保育所地域活動事業		●	●	●	●	●	●	●	○季節の果物や野菜について学んでいます（講師：生産地の農協関係者）。 所庭開放、誕生会、発育測定、年間行事、高齢者との世代間交流、育児講座、赤ちゃんサークル等を行っています。	随時実施。 地域の子育て家庭対象に所庭開放毎日。誕生会・発育測定月1回。保育所行事に参加案内。世代間交流随時。講座・サークル活動の定期的実施（毎月1回）
	24	「食」に関する子育て講座		●	●						保育所給食をもとに、幼児食や手作りおやつ、食事の話などの講習を行っています。	地域の子育て家庭対象。各所1～2回開催。1回20～30組
	25	赤ちゃんサークル「びよびよ」での離乳食講座		●	●						保育所給食をもとに、離乳食の講習を行なっています。	地域の子育て家庭対象。各所1～2回開催。1回10～20組
	26	ランチメニューコンテスト			●						保健所と共催で、小学5・6年生からランチメニューを募集してコンテストを行い、入賞献立を学校給食に取り入れています。	応募者数 1940名
	27	キッズフェスタ			●						親子の触れ合いや遊びの場の提供、幼児教育情報の発信の中で「食」に関する情報の提供をします。	1回 2922人
	28	子育て総合支援事業「子育て・子育て支援講座」			●						専門講師による講演や親子ふれあい遊びなどの実技を通してつながりを広げています。	健康支援室より、食生活・食育についての講演 6回 333人
	29	親子の学び場講座			●						料理・リトミック・音楽・スポーツチャンバラなど多様なジャンルの専門講師による遊びの提供や講演会などを実施しています	「親子でクッキング」 2回 64人
	30	体力向上の基礎を造るための幼児期における実践活動のあり方に関する調査研究事業	＊		●						幼児の生活の現状を明確にするとともに、幼時期に身につけておく基本的な動きや生活習慣の獲得のためのプログラム開発を行い教育課程への位置づけを行う 食事をきちんと取ることは、体を活発に動かす力となるため 園と家庭が連携して行うことにより効果を上げるため講演会を持ち、保護者啓発を図る	年1回「食を楽しむ」 25人

事業等		所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25歳 ～	中 年 期 45歳 ～	高 年 期 65歳 ～	内 容	20年度実施状況
31	在園児及び未就園児の保護者向け講演会	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						①幼児期の食についての講座を開催しています。 ②給食の試食を行い、その中で、栄養士・教諭が給食の意義・給食で行う指導について説明しています。	随時実施。
		豊中市民間保育園連合会加盟保育園			●						産地直送の野菜コーナーを設けています。	
32	バザー	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						保育・教育の一環として行う野菜や福の栽培時に、野菜くず・落ち葉を活用した堆肥を使うことで、ごみの削減に取り組むとともに、食の循環を体現し自然の恵みに感謝する気持ちを育んでいます。	毎日実施。 小学校は随時実施。
		各保育所・園、小学校、あゆみ学園※1・しいの美学園※2共通			●	●					とよびー(給食から出る生ごみ・剪定枝堆肥)で作った市内農作物を給食食材として使用する「食のリサイクル」の取り組み	保育所・園において、たまねぎの使用(年1回)
33	保育、教育の中で食の循環に関する取り組み	保育所			●	●					とよびー(給食から出る生ごみ・剪定枝堆肥)で作った市内農作物を給食で使っています。	保育所・園において、たまねぎの使用(年1回)
		学校給食課			●	●					保育所・あゆみ学園・しいの美学園の技能職員と担当保育所長及び保護課栄養士が、給食作りを中心に食育と給食衛生を考える。保育における子どもの安全と環境整備を考え、環境保全・食育に関わる研究の推進をはかっています。	年6回 子育て支援事業「みんなあつまれわくわくランド」に[食のコーナー]出展参加
34	技能員研究会	保育課			●						保育活動において、ごみの削減や堆肥作りを行い、併せて食育の推進についての取り組みを、年間を通じて見直しをもちたものにするため、年間計画を作成しています。	毎日の保育において計画的に実施。
		保育課			●							
35	環境食育推進年間計画の作成	保育課			●						「豊中市食育推進計画」「改定保育所保育指針」を踏まえた豊中市立保育所の食育目標を作成。	
		保育課	*		●						幼稚園教育で「食育の年間指導計画」に基づき指導します。	
36	食育目標の作成	保育課			●						①各校の定める食育の年間指導計画に基づき指導します。 ②「食に関する指導の手引き」を活用した指導、教科・領域などにおける食に関する指導、給食時間における食に関する指導などを進めています。	41校で策定
		市立幼稚園			●							
37	「食育年間計画」の策定中	保健体育課				●						
		保健体育課										
38	学校における「食に関する指導の全体計画」の策定	保健体育課										
		保健体育課										
39	体 制 つ く り	保育課										
		保育課										

事業等	事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15 歳～ 保 護 者	壮 年 期 25 歳～ 保 護 者	中 年 期 45 歳～ 保 護 者	高 年 期 65 歳～ 保 護 者	内 容	20年度実施状況
体 制 つ く り	40 小・中学校における指導体制の充実	保健体育課	*			●					今後配置される栄養教諭などを中心に食育を推進するとともに、教職員を対象にした食育に関する研修会を開催するなど食育の重要性に対する教職員の意識を高め、理解を深めるよう取り組みます。	小学校2校に栄養教諭配置
	41 ブロック交流研修(アカデミー研修)	教育センター	*			●					幼小中学校の校種を超えたブロックごとの交流研修会。原田小学校3年の「総合的な学習の時間」における研究授業。「かむことの大切さを知ろう」テーマ「体験学習と食育」食物栽培と食育の関連性。	参加人数25名
	42 職員への教育	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園※			●						職員が終礼時に、給食献立に関連する栄養・文化・歴史等について調べ発表しています。	随時実施
	43 (仮称)豊中市新学校給食センターの整備(原田・原部学校給食センターの運営)	学校給食課	*			●					食物アレルギーや障害のある児童への対応食をはじめ、安全でおいしい給食を提供し、食育を推進するための学校給食に関する情報を発信する機能を備えた(仮称)新学校給食センターの整備をめざす。	(仮称)豊中市新学校給食センター基本構想の策定に際し(仮称)新学校給食センター基本計画の策定を行った。

3、地域社会の取り組み

事業等	所管	新規 に＊ 印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25 歳～	中 年 期 45 歳～	高 年 期 65 歳～	内 容	20年度実施状況
相 談 対 応	1 子育てサロン	社会福祉協議会		●	●					親の出会いの場・学習・交流の場づくりとして、校区福祉委員会と民生・児童委員が連携して実施。食育に関する相談も行なっています。	485回、参加者18,097人
	2 ふれあいサロン	社会福祉協議会	●	●	●	●	●	●	●	なかまづくり・健康増進、いきがいのづくりの場として開催校区福祉委員会・民生・児童委員が連携して実施。食育に関する相談も行なっています。	1,802回、参加者17,268人
体 験	3 世代間交流	社会福祉協議会、校区福祉委員会、民生・児童委員	●	●	●	●	●	●	●	世代をつなぐ学習や交流を促進する場。いも掘り、もちつき、料理教室等を通して食文化の広げと交流を行うプログラム実施しています。	184回、参加者30,073人
	4 自然と親しむ事業	社会福祉協議会、校区福祉委員会	●	●	●	●	●	●	●	いも掘り等の土に親しむ事業を全市的に実施しています。	24回、参加者1,477人
	5 小学校との交流	老人クラブ連合会（釜池統治連会）							●	釜池小学校花壇に野菜や花を植えて学習の教材として提供しています。じゃがいも、さつまいも掘りを生徒の皆様にさせていただいています。	じゃがいも、さつまいも共バケツ12杯の収穫。総勢を記念し「平和の日」にすいとん作りをして500人以上の生徒に提供しました。
各 種 料 理 教 室・ 講 義 会・ イ ベ ン ト	6 おとうさんといっしょ	とよなか男女共同参画推進センター		●						父親が子育てに積極的に参画し、役割分担にとらわれず、食育も担えるようになることをめざす講座を開催しています。	7回、参加者のべ57組
	7 男の生活力養成講座	とよなか男女共同参画推進センター				●	●	●	●	団塊の世代の男性を主な対象とする、食の自立を始めたとした生活力の養成と、ネットワーク作りをめざす講座を開催しています。	無添加手づくりみそ講習会(協賛) 食文化の広場を伝えるとともに、無添加で安全な保存食づくりの講習会を行っていきます。(4回、参加者33人)
		とよなか男女共同参画推進センター				●	●	●	●	そば打ち体験教室(協賛) 団塊の世代の男性を主な対象とし、食の自立を始めとした生活力の養成をめざしています。(2回、各30組)	

事業等		所管	新規 に※ 印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25 歳 ～	中 年 期 45 歳 ～	高 年 期 65 歳 ～	内 容	20年度実施状況
各種料理教室・講演会・イベント	8 健康教室	健康づくり推進 委員会		●	●	●	●	●	●	●	健康づくり推進員がその居住する小学校区において、豊中市（健康支援室）と協力して実施する健康教室で、食育や口の健康に関するテーマも取り上げています。校区福祉委員会・公民分館・老人会等と共催したり、講師として市や保健所の専門職員以外に地域住民にお願いしたり、小学校や地区会館で行ったりと、地域に密着して行っています。	開催回数34回、参加人数1,206人
	9 市民健康づくりフォーラム	健康づくり推進 委員会		●	●	●	●	●	●	●	健康づくり推進員及び一般市民を対象に健康に関する情報を伝える講演会を開催しています。	6月27日開催、196人参加
	10 男性の料理教室	社会福祉協議 会、Vネットと よなか						●	●	●	男性の食育や自立を目的に実施しています。	
	11 ひとり暮らし高齢者の会食会	社会福祉協議 会、校区福祉委 員会							●	●	みんなで会食をすることで、孤立感を防ぎ、仲間作りを行っています。	351回、参加者13,704人
	12 ミニディサービス	社会福祉協議 会、校区福祉委 員会							●	●	虚弱高齢者を対象に手作りミニディサービスを実施しています。食育に関する相談も行なっています。	97回、参加者1,267人
	13 食育に関する講習会	若人クラブ連合 会							●	●	講師を招いて講習会を開催し、食育に関して学ぶ機会をつくっています。	
	14 野菜販売	若人クラブ連合 会（豊池統合延 寿会）							●	●	豊池小学校で野菜作りをしてきた野菜を若人会で販売し、次の苗代、肥料代に充当しています。	
	15 豊中市学校歯科医会 研修会	豊中市歯科医師 会				●					少年期のさらなる健康増進に寄与するため、学校歯科医師が学校保健活動でより良い指導・助言を行うのに必要な研修を行っている。過去に食育についても取り上げています。	大阪府学校歯科医会より講師を招き実施
	16 歯の保健巡回指導	豊中市歯科医師 会、豊中市学校歯科 医会				●					児童が歯の健康に関する知識と関心をもち、歯の健康の維持と病気の予防を実施できる能力を身につけることを目的とし、歯科衛生士専門学校の協力のもと、2年サイクルで市立全小学校に保健巡回指導を実施しています。	歯科衛生士専門学校5校により、22校・286クラスで実施

事業等		所管	新規に※印	妊婦期	幼年 期 0歳 ～ 保護 者	少年 期 6歳 ～ 保護 者	青年 期 15歳 ～ 保護 者	壮年 期 25歳 ～ 保護 者	中年 期 45歳 ～	老年 期 65歳 ～	内容	20年度実施状況
各種料理教室・講演会・イベント	17 よい歯の笑い	豊中市歯科医師会 豊中市学校歯科医会		●	●	●	●	●	●	●	口腔衛生の啓発を目的に、歯の衛生週間（6月4日～10日）中の土曜日に、小学校を会場に、啓発イベント、学校歯科医による講演、歯科医を講師とする特別授業参観等を実施。講演会では食育について取り上げることがあります。	南桜塚小学校で実施。 来場者数1,860名
	18 よい歯の高齢者8020表彰	豊中市歯科医師会								●	80才以上で20本以上歯のある市民を対象に公募。各校区福祉委員会のご協力のもと、献者の多い会場にて表彰式を開催しています。	34会場にて、129名を表彰。
	19 よい歯のコンクール	豊中市歯科医師会		●							大阪府主催の「全大阪よい歯のコンクール」の地区審査会を豊中市健康支援室のご協力のもと、3歳未満児を募集した幼児と保護者を対象にコンクールを実施しています。	地区代表1組、地区優良2組を選出。
	20 幼稚園・保育所歯徳指導	豊中市歯科医師会		●							（財）ライオン歯科衛生研究所のご協力のもと、豊中市内の幼稚園、保育所で歯徳指導を実施しています。	5園所にて、598名に実施。
	21 各種の食に関する講座	豊中地域活動米食士会トウテイ		●	●	●	●	●	●	●	様々な年代を対象にした食に関する講座を通して、健康づくりの支援と食に関する情報提供を行い、食育を推進しています。	地域での食育活動 57回・838名
	22 料理教室	とよなか消費生活協同組合 豊中市小売市場連合会						●	●	●	共催で料理講習会を開催しています。	和菓子講習会 1回15名 家庭料理と手づくりおやつ講習会 1回34名
	23 緑と食品のリサイクルプラザ運用事業	花と緑のネットワーク 公園みどり推進課		●	●	●	●	●	●	●	①見学者に対する有機性資源循環の仕組みと食の重要性の啓発を行っています。 ②「とよび一祭り」などにおいて、豊中産もち米を使用した餅つきや、いも掘り体験を実施しています。	①見学・視察対応：29回、1,083人 ②餅つき及びいも掘り体験：520人
	24 堆肥化講習会	花と緑のネットワーク 公園みどり推進課			●	●		●	●	●	親子や児童・生徒などに対し、「とよび一祭り園」において、野菜の植え付け・収穫などの食育体験活動の場を提供しています。	体験型学習：41回、2,894人
											家庭向け堆肥づくり講習会を行うことにより、生ごみの発生抑制、家庭菜園での堆肥活用を促進しています。（於：くらしかん）	20回、221人

事業等		所管	新規 に＊ 印	妊 娠 期	幼 年 期 0歳 ～ 保 護 者	少 年 期 6歳 ～ 保 護 者	青 年 期 15歳 ～ 保 護 者	壮 年 期 25歳 ～	中 年 期 45歳 ～	高 年 期 65歳 ～	内 容	20年度実施状況
各種料理教室・講演会・イベント	25 野菜作り講習会	花と緑のネット ワーク 公園みどり推進 課						●	●	●	有機性資源を利用した上手な野菜づくりの講習会を開催しています。（於：くらしかん）	3回、65人
	26 出前講座	花と緑のネット ワーク 公園みどり推進 課			●						希望する小学校等に出向いて次の講座を実施しています。 ①学校菜園での野菜づくりへの助言。 ②米づくり・食品ごみ・地産地消などについて、発生抑制・減量・資源循環の視点からの話。	環境教育出前講座：12回、1,250人
	27 とよっぴー倶楽部	花と緑のネット ワーク						●	●	●	市の雄肥化事業の市民応援団を組織し、有機性資源の活用を促進しています。	とよっぴー倶楽部会員数：103人 （平成21年2月末現在）
	28 男女共同参画推進活動への支援	とよなか男女共 同参画推進セン ター		●	●	●	●	●	●	●	グループ・団体活動の情報収集・提供、自主グループ活動育成・支援、グループ活動活性化のための講座の開催、すてっぷ登録団体助成金交付、グループ活動リーダー養成、ワークスペース・機器等の提供、交流ネットワークの機会提供、ネットワーク協議会の組織化などを行っています。	
食品廃棄物・地産地消	29 地域子育て支援事業	社会福祉協議会		●							①わいわい子育てミーティングを開催しています。 ②子育てサークルマップを作成しています。 ③校区福祉委員会での子育て支援活動（小地域福祉ネットワーク活動）を進めています。	①1回、79名参加 ②5,000部発行 ③子育てサロン485回、参加者18097人
	30 地産地消バザー	花と緑のネット ワーク 公園みどり推進 課						●	●	●	地産地消の推進を目的に、「生活情報ひろば第幾」の一環として実施している地産地消バザーに参加しています。（於：くらしかん、第2水曜日）	野菜の頒布：16回、1,131人
	31 地産地消のレシピ作成	とよなか消費者 協会	*	●	●	●	●	●	●	●	平成21年3月開催のくらしの研究発表会（行政の取り組みNo.68参照）で「地産地消の推進」として、地産材料のお料理レシピを発表しました。	平成21年3月発表。発表内容は、冊子「くらしから提案」にまとめられています。
	32 市民レングまつり、野菜もぎとり園	市民レングまつり実行委員会 農業委員会事務 局		●	●	●	●	●	●	●	市民レングまつり会場で野菜もぎとり園を実施し、市民に土に親しんでいただき、自らが収穫する楽しみと新鮮野菜を食する喜びを提供するとともに市民農家との交流を図る。	4月29日実施
	33 桜井谷あおぞら朝市	桜井谷あおぞら朝市運営委員会	*	●	●	●	●	●	●	●	桜井谷地域を中心とした地場野菜等を販売する朝市を毎月第13土曜日（7月、8月は毎週）午後9時（夏期は8時半）からJJA大阪桜井谷支店駐車場で開催	平成20年7月7日から開催

4 その他（食育関連の情報提供等）

食育推進グッズ貸出一覧

食育推進グッズ貸出一覧

お借りになりたい方は、健康支援室 栄養士（６８５８－２８００）へお問い合わせ下さい。
使用目的によっては、貸し出しをお断りする場合があります。ご了承ください。

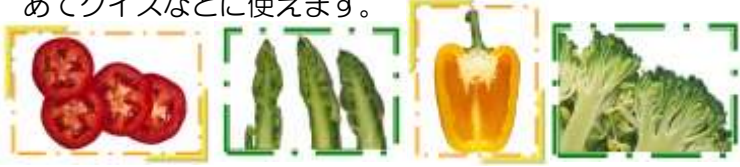
グッズ名、(所管)	概要
食育のぼり (健康支援室)	食育シンボルマーク・キャッチフレーズの入ったのぼり。 ５０本 ポールつき 
豊中市食育推進計画 パネル (健康支援室)	食育推進計画概要版（A2,カラー）１２枚 １組  ＊豊中市食育推進計画の概要がわかるパネルです。イベントや講座のときの展示用です。
そのまんま料理カード (健康支援室)	・ちょっぴりごちそう編 ・食事バランスガイド編 ・３皿でバイキング編 ・菓子飲み物カード (群羊社)  ＊実物大の料理カードです。重たくないので、持ち運びしやすいです。健康支援室では、料理を例示しながらお話しするときに使っています。
食事バランスガイド掛け図 (健康支援室)	縦約１００cm ×横約１２０cm 布タイプ  ＊バランスガイドについて説明するときに使います。大きいサイズなので、講義のときなどに使うことができます。巻いて持ち運びすることができます。

グッズ名、(所管)	概要
食育エプロン (健康支援室)	エプロンシアター 「早ね早おき朝ごはん」 ～生活習慣からはじめる食育～ 演技方 DVD 付 (メイト)  「味覚を育てる食育エプロン」 ～味覚・歯と口の衛生～ (メイト) おいしく楽しく食べる ためのお口の健康づく りについてのお話です  ＊エプロンのポケットから色々なものを取り出して、エプロンにはりつけたりしながら話します。一人で劇のように演じることができます。幼児向けのお話に向いています。
お口の体操人形けいすけ君 (健康支援室)	・ 取り外せる歯や動く舌がついている人形です。  ＊舌や口唇の体操などを指導する際に使います。
顎模型と歯ブラシ模型 (健康支援室)	・ 20×15×15cm プラスチックの顎模型 ・ 23cm プラスチックの歯ブラシ模型  ＊歯磨き指導の時に使います。
はてなボックス (学校給食課)	＊クイズをしながら食育 カードを入れると？ボックスの中 でくるとひっくり返り、答えが出 てきます。 

グッズ名、(所管)	概要
紙芝居 (学校給食課)	＊紙芝居 A2サイズの手づくり紙芝居 15種類あります。  けんいち君とまさお君のふたごの兄弟が、お皿にのって野菜の国へ行きました。 そこで人参君や玉ねぎ君の話を聞き、今まで野菜が嫌いによくカゼをひいていたまさお君も、がんばってたべるようになり元気になりました。 ・太郎君のむし歯 ・牛乳のおはなし ・食べもの大行進 ・はな子さんの運動会 ・ケンちゃんのぼうけん ・ステップ ララちゃん ・牛乳をのもう ・なんでも博士のロボット ・行こう！栄養の国へ ・楽しい給食 ・まほうのサラスケ君 ・みんな なかよし ・王子様の旅 ・栄養ってなあに？ ・あさごはんを食べよう
とよっぴー (豊肥) (公園みどり推進課)	2.5kg・5kg 袋 (イラスト入り) 3kg・6kg・10kg (透明袋) ＊「食の循環」に関する環境教育 (食育) 授業などに使うことができます。袋詰めしたものをお渡しします。 
食育CD-ROM (大阪府豊中保健所)	CD-ROM「元気っ子クラブ」(大阪府)  〈内容〉 ・がんばれゲンキープ号 (三色栄養) ・野菜バリバリ元気っ子 ・朝食モリモリ元気っ子 ・おいしく楽しくヘルシーに ＊子どもがクイズやゲームで楽しく遊びながら、健康的な食生活について学ぶことができるソフトです。各メニューお話とクイズ・ゲームで構成されています。小学生向け (内容によっては幼児でも活用できます)。

グッズ名、(所管)	概要
野菜ソングCD (大阪府豊中保健所)	CD「野菜バリバリ元気っ子」ソング(大阪府)  ＊楽しく歌って踊って、からだが元気になる「野菜」をテーマとした歌です。曲に合わせた「元気っ子ダンス」の振り付けがついています。体操や運動会、お遊戯などに最適です。
実物大そのまんま食材・料理カード (大阪府豊中保健所)	食材カード→  ←料理カード 食事バランスガイド編 ＊実物大の食材・料理カードです。重たくないの、持ち運びしやすいです。料理を例示しながらお話するときに使います。(群羊社)
フードモデル (大阪府豊中保健所)	「野菜1日350グラムフードモデル」(川崎フードモデル)  ＊野菜を1日350グラム摂るための組み合わせ方や量の確認が出来ます。 「食育・栄養3色3食フードモデル」(川崎フードモデル)  ＊赤、黄、緑の3色の食品を使った朝食の献立例のセットです。3つのグループをそろえることや、朝食のお話に。ランチョンマット付き。キャリングコンテナケースに入っています。

グッズ名、(所管)	概要
野菜カードゲーム (大阪府豊中保健所)	「Poker831 (ポーカーやさい)」(大阪府) ＊32種類の野菜の絵が描かれたカードゲームです。 ポーカーとしても、絵合わせとしても遊ぶことができます。 遊び方の解説シート付き。 
食育かるた (大阪府豊中保健所)	「野菜バリバリ朝食モリモリ食育かるた」(大阪府) ＊小学生が考えた絵と文で作ったA5サイズの食育かるたです。 
食育大型絵本 (大阪府豊中保健所)	大型絵本「やさいだいすきげんきっこ」(大阪府) ＊朝食のお話、野菜料理とそれに使われている野菜の名前あてクイズなどが出来るA2サイズの大型絵本です。 
食育パネル (大阪府豊中保健所)	「野菜バリバリ元気っ子」 「朝食モリモリ元気っ子」  ＊A1サイズのパネルに入っています。(大阪府)

グッズ名、(所管)	概要
野菜断面図クイズ (大阪府豊中保健所)	「野菜断面図クイズ」(大阪府豊中保健所) * 10種類の野菜の丸ごとの写真、切り口の写真をそれぞれA3サイズに印刷し、パウチした手作り教材。野菜の名前を当てクイズなどに使えます。 
食育スケッチブック (大阪府豊中保健所)	「食育スケッチブック」(大阪府豊中保健所) * あか・き・みどりの食べ物の仲間の働きやどんな食品があるかのお話に。食べ物カードとセットで、バランスクイズが出来ます。25cm×35cmの手作り教材。 

平成20年度（2008年度） 豊中市食育推進計画年次報告書

平成22年（2010年）1月

豊中市 健康福祉部 健康支援室

〒560-0023 豊中市岡上の町 2-1-15

Tel 06-6858-2800 Fax 06-6846-6022